

平成 24 年 度

業 務 年 報

大分県農林水産研究指導センター

平成24年度 業務年報

目 次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織	1
2	試験研究課題の重点化と評価の徹底	2
3	情報発信機能の強化	5
4	試験研究機関の連携推進	5
5	研究員の資質向上	5
6	農林水産関係研究成果発表会	9
7	知的財産権の取得状況	9
8	大学との連携	10
9	受賞、学位取得の状況	10
10	主要な行事・会議等	10
11	各所属の業務・試験研究	11
12	予算概要	12
II	研究部・グループの概要	13
1	農業研究部	13
2	水田農業グループ	25
3	果樹グループ	28
4	花きグループ	32
5	畜産研究部	36
6	林業研究部	44
7	きのこグループ	47
8	水産研究部	52

I 大分県農林水産研究指導センターの概要

1. 農林水産研究指導センターの組織

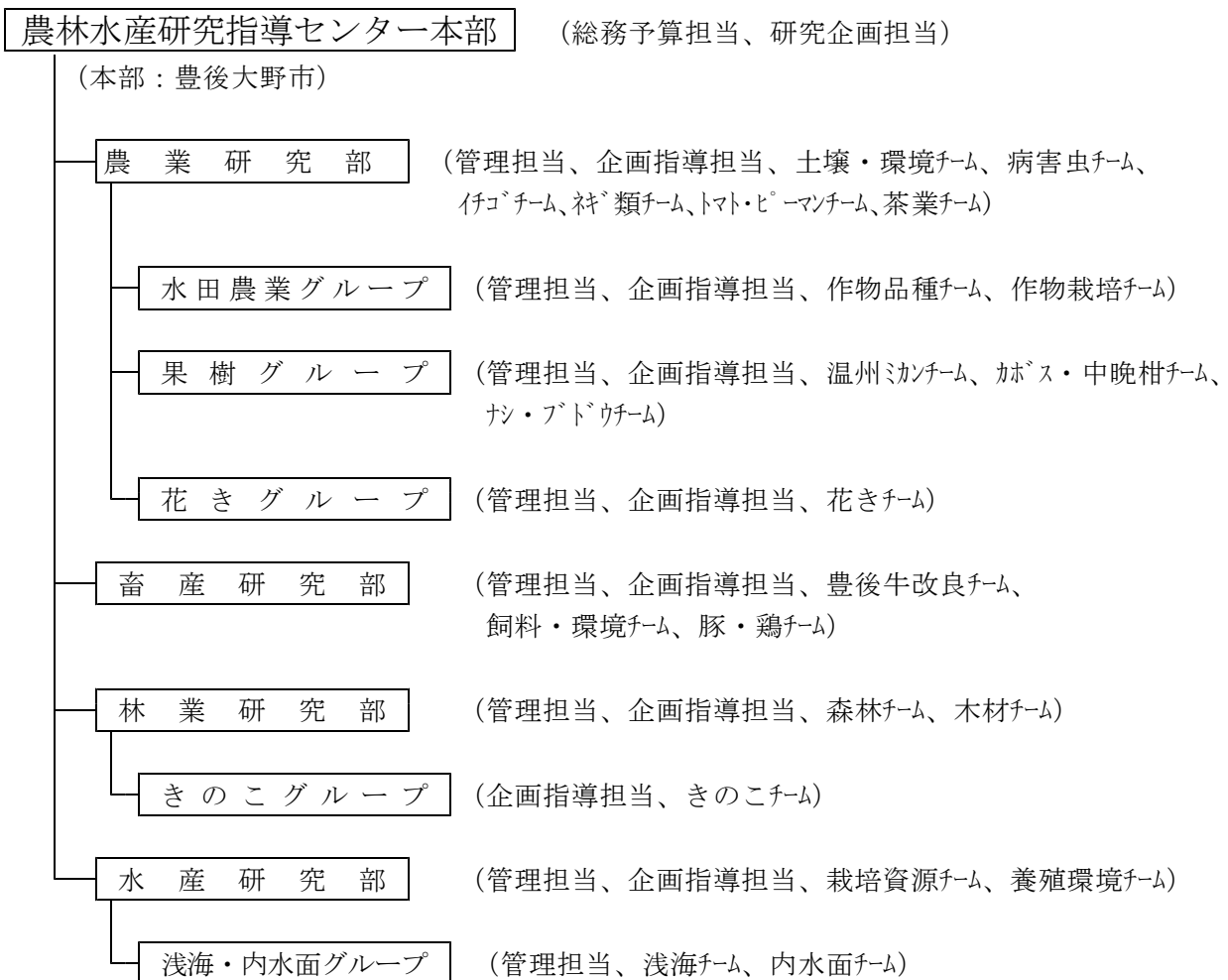
平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産業の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及をめざして、研究指導體制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編し、効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入し、センター本部を豊後大野市に移し、全体を統括するセンター長と総務予算担当、研究企画担当を配置した。

平成23年4月に宇佐市から農業研究部の土壌・環境チームと病害虫チームを、6月にはイチゴチームを豊後大野市に移転し、組織再編を完了した。

今後は試験研究の成果により開発した新技術を研究員自ら普及指導員と一緒に生産現場に赴き、生産者への研修、技術実証を行うなど普及指導體制の強化に取り組んでいる。

本部の主な業務は、試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、共同研究調整、知的財産取得・活用、課題評価・成果公表、研究員の資質向上、産学官交流・連携促進である。

組 織



農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

平成24年4月1日現在

機関	事務吏員	技術吏員					技労職員 事務補佐	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター本部	3		6			6		9
農業研究部	5	35	1	4		40	8	53
水田農業グループ	3	9	1	1		11	6	20
果樹グループ	1	13	1	2		16	7	24
花きグループ	1	6	1	1		8	2	11
畜産研究部	4	22	2	3		27	26	57
林業研究部	2	13	1	1		15	3	20
きのこグループ		6	1	2		9	1	10
水産研究部	5	16	1		6	23	1	29
浅海・内水面グループ	1	11	1			12	2	15
合 計	25	131	16	14	6	167	56	248

2. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

現場ニーズに即した試験研究を効率的に実施するため、研究課題数を概ね100課題に厳選し、研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間とした。

研究課題の設定や進行管理に当たっては、内部・外部評価を厳格に行い、評価結果や進捗状況を公表した。

(1) 評価の種類別対象課題

1) 事前評価

開発しようとする技術の内容や手法を精査し、予算要求を行う事前の段階において新規候補課題のすべてについて、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性などすべての観点から評価を得て、事業実施の適否について判断した。

2) 中間評価

研究の進捗状況や現場ニーズ、取り巻く状況の変化等を踏まえた上で、試験研究継続の適否を判断する。研究期間が4年以上の課題でこれまで評価を受けなかったものについて実施した。

3) 事後評価

今後の現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、研究活動の3年目に研究課題の終了時点を見越し研究成果について実施した。

(2) 所内新規課題等検討会（外部評価委員会専門部会：6月1日～6月22日）

現場ニーズにあった試験研究計画にするとともに、試験研究結果について検証し、現地移転を促進した。開催は各研究部、グループ単位で行い、研究員、生産原課の担当職員、普及指導員、生産者代表等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

また本検討会に専門分野からの技術的アドバイスを受けるため学識経験者、生産者、消費流通関係者等で構成する外部評価委員会専門部会員の出席を求め、新規研究課題に関して「技術的達成の可能性」の観点から意見をもらった。

平成24年度農林水産研究指導センター外部評価委員会専門部会

委員会 開催日	部門	専門部会員		
		所属名	職名	氏名
6月11日	病害虫	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害虫研究グループ	上席研究員 プロジェクトリーダー	平八重 一之
		九州大学 鹿児島大学	名誉教授	湯川 淳一
	土壌・ 環境	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域	上席研究員	草場 敬
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 植物生産科学	教授	和田 信一郎
6月12日	野菜・ 茶業	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 植物資源科学部門 農業植物科学講座	教授	大久保 敬
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	暖地野菜花き研究調整監	坂田 好輝
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域	上席研究員	沖村 誠
	水田 農業	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域	上席研究員	住吉 正
		三和酒類株式会社	専務取締役	下田 雅彦
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 農業生産生態学	准教授	望月 俊宏
6月18日	果樹	国立大学法人 鹿児島大学 農学部 生物生産学科 園芸生産学講座	農学部長 教授	富永 茂人
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 カンキツ研究口之津拠点	カンキツ調整監	塩谷 浩
		大分県果樹生産者協議会(大分県柑橘研究会)	会長(会長)	川野 英信
	花き	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域	主任研究員	今村 仁
		東海大学 農学部 応用植物科学科 蔬菜花卉園芸学研究室	教授	田中 孝幸
		別府市公園緑地課 別府市南立石緑化植物園 みどりの相談所	相談員	後藤 哲
6月1日	畜産	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 動物海洋生物資源学講座 家畜生態学分野	准教授	後藤 貴文
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	畜産草地研究領域長	梶 雄次
		公益社団法人 大分県畜産協会	専務理事	佐藤 信行
未開催*	林業	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 サステイナブル資源科学講座	准教授	藤本 登留
6月8日	きのこ	独立行政法人 森林総合研究所九州支所 森林資源管理研究グループ	主任研究員	近藤 洋史
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部 森林環境科学講座	教授	大賀 祥治
6月22日	水産	独立行政法人 森林総合研究所九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物資源学講座	教授	松山 倫也
		独立行政法人 水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所 業務推進部	部長	川崎 清
		独立行政法人 水産総合研究センター 増養殖研究所上浦庁舎 養殖技術部	グループ長	加治 俊二

*林業部門は25年度新規課題がなかったため未開催。

(3) 試験研究推進本部会議本部員並びに企画評価会議委員による評価会議(内部評価)

(農業部門：7月9日、畜産・林業・水産部門：7月12日)

農林水産部長、審議監、県庁生産原課の課室長、農業大学校長並びに農林水産研究指導センター長で構成する試験研究推進本部会議本部員と総務部・企画振興部・生活環境部の総務企画監、商工労働部の産業企画監、産業科学技術センター企画連携担当総括並びに農林水産部構造改革企画監、流通企画監で構成する企画評価会議委員による評価会議を開催し、事前、事後及び中間の評価対象研究課題について評価を受けた。

(4) 外部評価委員会(外部評価)：8月8日

経済界や大学の学識経験者、市場関係者や生産者代表をもって構成する外部評価委員により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的効果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

平成24年度農林水産研究指導センター外部評価委員

分野	委員氏名	役職等	選定理由
経済界・学識経験者	三浦 宏樹	日本政策投資銀行 大分事務所長	前任所長が、大分県新長期総合計画策定県民会議委員(産業振興部会)を務め、地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
	本谷 るり	大分大学 経済学部 准教授(経営戦略論)	大分県新長期総合計画策定県民会議委員(産業振興部会) 一次産業の経営戦略的な観点から研究課題の妥当性について評価を期待できる。
流通関係者	長尾 喜久男	京都青果合同(株) 執行役員部長	大分県マーケティングアドバイザー。 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	立石 弘司	イオン九州(株) 産地開発部長	大分県マーケティングアドバイザー。 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	藤澤 政則	大分一村一品株式会社 代表取締役社長	県内におけるマーケティングに携わる最前線の立場から技術開発の必要性等について評価が期待できる。
生産者代表	大窪 勉 (農業部門)	農業経営者 (小ネギ)	大分”味一ねぎ”生産部会副部会長 (有)葱屋おおくぼ
	近藤 和義 (畜産部門)	肉用牛経営者	県議、公益社団法人大分県畜産協会会長 おおいた森林組合長
	田島 信太郎 (林業部門)	林業経営者	田島山業(株) 代表取締役
	渡邊 英敏 (水産部門)	漁業経営者 (小型機船底びき網)	元大分県漁業協同組合青年部長 大分県漁協宇佐支店運営委員

(5) 平成25年度研究課題の決定

内部評価で総合得点60点以上の課題については、次の外部評価に進み、60点未満のものについてはこの時点で事前評価対象課題から除外するが、今回内部評価を受けた課題数は20課題で、60点未満のものはなく、全課題が外部評価対象課題となった。

外部評価発表課題は原則、新規課題を対象とし、新規課題の無い研究部においては継続新規課題を対象とした。また新規課題の多い研究部については、研究としてアピールの必要がある課題を対象とした。外部評価で総合60点以上の課題については、事前評価対象課題に決定し、60点未満のものについては内部評価会議の結果を踏まえて、最終的にセンター長が研究課題として採択するか否か判断するが、今回外部評価を受けた課題数は12課題で、すべて総合得点60点以上であった。

25年度の新規候補課題数は20課題であり、全課題を採択した。

(6) 評価制度の見直し

主要な見直しとして、以下の点の評価制度の変更を行った。

- ・ 評価は研究指導センターの実施する研究課題を対象に行うこととするが、評価の重複を避け、効率化を図る観点から、以下のいずれかに該当する試験研究課題については、センター長との協議により評価実施の可否を決定できる評価対象課題の例外措置を設けた。

- ① 国等の競争的資金や国、企業等からの委託による課題
- ② 秘密保持義務が必要な課題
- ③ 定型かつ継続的な研究調査、品種選定等の経常的課題
- ④ 生産原課等の施策事業からの課題（予算令達課題）
- ⑤ その他、緊急的に対応が必要な課題等、センター長が認めた課題

3. 情報発信機能の強化

研究成果を「研究 Now」と題してホームページに掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

掲載年月日	タイトル
H24. 5. 9	ドジョウの屋内無泥養殖技術の開発と改良
H24. 6.13	今こそ省エネ！シイタケ省エネ乾燥技術の確立
H24. 7.20	環境にやさしいピーマン病害虫防除技術の開発と改良
H24. 8.24	赤潮予報と赤潮監視で漁業被害を防ぐ
H24. 9.26	より安全で使いやすい学校家具の検証
H24.10.22	成園まで12年かかったナシ栽培が3年で可能に
H24.12.10	柔らかくてジューシー「おおいた冠地どり」！
H25. 1.29	安心安全な県産飼料を水田から！ 飼料用米の品種・栽培法の確立
H25. 2.28	ヤマジノギクの10月上旬出荷に成功！！

4. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関が総合的かつ有機的な連携を図るため、衛生環境研究センターと産業科学技術センターとで大分県試験研究機関連携会議を平成22年度に設置し、研究員の交流、意見・情報交換の推進、試験研究機器の相互有効活用の推進、研究の連携推進等を行った。

5. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

(1) 短期派遣研修

所 属	職・氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員 植谷 博一	独立行政法人 消費安全検査部	埼玉県	H24.7.23～27 (5日間)	肥料分析取締りに係る分析手法の習得
農業研究部	研究員 中尾 浩明	独立行政法人 九農研久留米研究拠点	福岡県	H24.11.26～12.7 (10日間)	養イチゴの育種基本技術及び最新の育種方法の取得
農業研究部 水田農業グループ	主任研究員 菊屋 良幸	九州大学	福岡県	H24.7.25～27 H24.9.10～14 (8日間)	水位制御技術を用いた節水・省力型の土地利用作物輪作体系の構築
農業研究部 果樹グループ	研究員 野村 雄太	独立行政法人 農業・食品産業技術 総合研究機構	長崎県	H25.1.14～19 (6日間)	系統適応性試験品種で選抜された有望な新品種の栽培法と経済性の高い大分県オリジナル品種の育成
畜産研究部	研究員 衛藤 央好	社団法人 畜産技術協会 附属動物遺伝研究所	福島県	H24.11.26～12.14 (20日間)	ウンDNA解析におけるマイクロサテライト法の習得
畜産研究部	主任研究員 岡崎 雅紀	独立行政法人 九州沖縄農業 研究センター	熊本県	H24.7.23～27 (5日間)	暑熱下の泌乳牛への抗酸化指標に及ぼす影響評価に関する分析手法の習得
林業研究部	研究員 佐藤 嘉彦	独立行政法人 森林総合研究所	熊本県	H24.9.24～10.5 (10日間)	第二世代スギ精英樹や抵抗性クロマツ品種などの優良品種の開発・選定方法等の習得
水産研究部	研究員 吉岡 佐織	社団法人 日本水産資源保護協会	東京都 中央区	H24.7.30～8.10 (14日間)	養殖衛生管理技術者養成研修本科コース基礎

(2) 長期派遣研修

所 属	職・氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員 安部 良樹	独立行政法人 九州沖縄農業 研究センター	熊本県	H25.1.7～3.15 (48日間)	植物のタンパク質、遺伝子発現の解析方法の習得

(3) 新規採用研究員現場体験研修

所 属	職・氏名	派遣先	派遣地	研修期間	研修課題
農業研究部	研究員 山崎 真居	高野真典 大分事業部イチゴ部会長	大分市 東院	H24.6.8～25.2.18 (延べ23日間)	鉢受け苗のランナー切り離し作業、苗の受け取り、栽培状況の把握等
農業研究部	研究員 大塚 美希	農業法人 デバンほか	佐伯市	H24.4.24～25.2.1 (延べ16日間)	高糖度トマトの栽培上の問題点等の把握、定植、ホルモン処理、収穫作業、果実の選別等
農業研究部 水田農業グループ	研究員 田中 啓二郎	農事組合法人 橋津営農組合 「よりの郷」	宇佐市	H24.5.29～10.5 (延べ13日間)	麦類収穫、育苗搬出、水稻播種、黒大豆の出荷調整等
農業研究部 果樹グループ	研究員 玉野井 昭	木村 房雄 ハウスミカン農家	杵築市	H24.5.30～6.12 H24.11.7～22 (30日間)	ハウス被覆作業、芽挿し確認
農業研究部 花きグループ	研究員 伊藤 久徳	(有)サザンガーデン	玖珠町	H24.6.4～19 (16日間)	出荷準備、挿し芽、堆肥造り、鉢上げ等
水産研究部	研究員 堀切 保志	福本定置ほか	津久見市他	H24.10.5～12.27 (延べ16日間)	定置網替え、定置網漁業、漁獲物の選別他

(4) 若手研究員研修

若手研究員に対して、本県の農林水産業を取り巻く情勢、他研究部・グループでの研究内容及び研究に対する心構え等について理解を深めるとともに、先輩研究員からの講演をとおり、若手研究員の意欲を高め、幅広い観点から試験研究遂行能力の向上を図るため研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24. 8.23	きのこグループ	30歳以下の若手研究員 25名	きのこグループの研究概要と施設について 講演～先輩研究員からのメッセージ～ 「ブタ精液の凍結及び融解法の開発による人工授精技術の高度化」 講師 畜産研究部 豚・鶏チーム 研究員 岡崎 哲司

(5) 中堅研究員研修

中堅研究員を対象に、他の研究機関の方との意見交換をとおり、視野を広げ、試験研究企画及び自己開発能力の向上を目的に研修を行った。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24.12. 5	株式会社 日本生物・科学研究所	主任研究員 21名	株式会社 日本生物・科学研究所の研究概要と施設について 講演 「消費者の視点に立った安全・安心の追求」 講師 日本生物・科学研究所九州研究室・品質保証室長 小笠原和也 意見交換会

(6) チームリーダー研修

各研究部、グループのチームリーダー及び企画指導担当（総括）を対象に研究の企画・立案能力の向上を図り、リーダーとしての自覚を高めることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24. 6. 4	三和酒類株式会社 三和研究所会議室	チームリーダー 企画指導担当 26名	講演「三和酒類株式会社における研究・開発の取り組みと人材育成について」 講師 三和酒類株式会社 三和研究所 所長 高下 秀春 研究事例紹介 「焼酎用原料大麦品種の研究開発」 水田農業グループ作物品種チーム 主幹研究員 白石 真貴夫 「研究員に求められているモラルについて」 農林水産研究指導センター研究指導顧問 林 浩昭

(7) マーケティング研修

国内外の農業の動向など幅広い情報とマーケット動向を的確に把握し、農林水産業をめぐる環境等の変化及び市場ニーズをしっかりとらみ、将来を見据えた新たな発想を生み出す研究員の育成を図ることを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H25. 2.25	花きグループ 研修室	研究員等 28名	講演「六次産業における先進事例から学ぶ売れるものづくりについて」 講師 九州元気カンパニー 丸岡 克之 講演「The・おおいたブランドの流通(林業・水産関係)について」 講師 研究普及課 広域普及指導班 主幹 有馬 忍 漁業管理課 団体流通班 主査 平澤 敬一

(8) プレゼンテーション研修

説得力あるプレゼンテーション技術や論理的なシナリオ構築、洗練された話し方を習得することを目的に研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24.7.4~5	県庁新館 OAプラザ	研究員 14名	テーマ「説得力のあるプレゼンテーションの技術」 講師 東北大学大学院 生命科学研究所 准教授 酒井 聡樹

(9) 数理統計研修

試験研究を行っていく上で、基礎的かつ重要な数理統計について、農林水産試験研究における基礎的な手法の習得とあわせて、現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24.11.26~28	県庁新館 OAプラザ	研究員 10名	「基礎編」 講師 独立行政法人 農業環境技術研究所 生態系計測研究領域 上席研究員 三中 信宏

(10) 知的財産セミナー

知的財産は新たな付加価値を創出し、ブランド化や産地間競争での優位性を高めるとともに、共同研究や競争的研究資金を獲得する上で有効なものである。一般社団法人大分県発明協会と連携し、弁理士を講師として招き、センター所属の研究員に対して知的財産の戦略的な取得・活用を推進するため3回セミナーを実施した。

開催年月日	開催場所	参加者数	内容
H24.10.9	農林水産研究指導 センター 第3会議室	研究員 22名	第1回 「新しいエッセンスで、強い事業を」 ～研究力・事業力を、本当の知財で実現～ 講師 溝口国際特許事務所 弁理士 溝口 督生
H24.11.7	花きグループ 会議室	研究員 13名	第2回 「知的プランニングと手続き」 講師 溝口国際特許事務所 弁理士 溝口 督生
H24.11.8	花きグループ 会議室	研究員 12名	第3回 「明細書とクレームの見分け方」 講師 溝口国際特許事務所 弁理士 溝口 督生

6. 農林水産関係研究成果発表会

(1) 農林水産研究指導センター研究紹介

新たな品種（製品）開発や農産物の持つ機能性成分による高付加価値食品（製品）の技術開発の成果を県民に広く情報提供することを目的に開催した。

- ・開催日時：平成25年2月15日（金） 13:00～16:00
- ・開催場所：コンパルホール 多目的ホール
- ・対象：消費者団体、生協関係者、一般県民等
- ・参加者数：160名（農林水産部長出席）

研究紹介 発表時間：1課題 20分

No	所属	職・氏名	発表課題
1	農業研究部	主幹研究員 奈良絵美	人気上昇中！さつまいも「甘太くん」、その生い立ちについて
2	畜産研究部	主任研究員 岡崎雅紀	みそ・しょうゆ副産物から美味しい牛乳をつくる！！
3	林業研究部	主幹研究員 古曳博也	おおいた発！ドングリの森から生まれたクヌギ家具
4	水産研究部	主任研究員 木藪仁和	～味よし、香りよし、見た目よし～ブランドブリの真打ち「かぼすブリ」の実力

・試食及び展示

- さつまいも「甘太くん」の試食
- みそ・しょうゆ副産物を飼料に使った牛乳の試飲
- かぼすブリの刺身の試食
- カンキツ「大分果研4号」の試食
- 新品種のナメコの収穫体験
- オリジナルトルコギキョウの切り花、鉢物（チェリービー）等の展示
- クヌギ材で作った暖卓の展示、サンプルブロック材配布

7. 知的財産権の取得状況

(1) 特許登録

平成19年10月25日に特許出願した「灌水施肥装置」及び「灌水施肥装置の濾過装置洗浄方法」は、平成24年4月20日に特許登録された。また平成19年4月20日に特許出願した「焼酎製造廃液を利用した家畜からの汚水の生物学的処理方法」は、平成25年2月1日に特許登録された。さらに平成23年11月17日に特許出願した「ウン个体における枝肉重量及び体高を増加させる遺伝的能力を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量及び体高を増加させる遺伝的能力の評価方法」は、平成25年1月18日に特許登録された。

平成24年度特許登録等一覧表

発明・考案の名称	関係所属	大分県の 権利持分(%)	出願番号 (出願年月日)	特許番号 (登録日)
灌水施肥装置	農業研究部	30	特願2007-277304 (H19.10.25)	特許第4974002号 (H24.4.20)
灌水施肥装置の濾過装置洗浄方法	農業研究部	50	特願2007-277347 (H19.10.25)	特許第4974003号 (H24.4.20)
焼酎製造廃液を利用した家畜からの汚水の生物学的処理方法	畜産研究部	50	特願2007-111923 (H19.4.20)	特許第5186626号 (H25.2.1)
ウン个体における枝肉重量及び体高を増加させる遺伝的能力を評価する遺伝子マーカー及びそれを用いた枝肉重量及び体高に関する遺伝的能力の評価方法	畜産研究部 家畜衛生飼料室	10	特願2011-252062 (H23.11.17)	特許第5176034号 (H25.1.18)

(2) 種苗登録

平成24年度に登録された品種等はない。

8. 大学との連携

県内には農林水産系の4年制大学がなく、研究交流が容易に進み難い状況にあるため、平成19年1月29日に九州大学大学院農学研究院と共同研究や人材養成について連携する基本協定を締結し、共同研究等で幅の広い研究を行うための連携を進めた。なお平成24年1月28日を以て5年間の有効期間が満了することから、平成24年1月29日に基本協定の延長を行った。平成24年度は、13課題（継続課題も含む）について共同研究・連携に向けた取り組みを行い、共同研究として取り組んだものが3課題、共同研究・連携に向けて検討中のものが8課題、具体的な連携に至らなかったものが2課題であった。

9. 受賞、学位取得の状況

24年度は1名の研究員が研究功績賞を受賞した。学位取得者はいなかった。学位取得のため大学院博士後期課程に在籍する研究員は3名である。平成24年5月1日における農林水産部職員の博士号取得者は14名である。

(1) 受賞者一覧

受賞者名	所属	受賞名	表彰授与主体	受賞年月日	受賞の内容
河津 渉	林業研究部	第25回研究功績賞	全国林業試験研究機関協議会	平成25年1月24日	県産スギ材のスギ材の需要を図るため、土木用木製構造物の強度及び耐久性を明らかにし、土木用資材としての用途拡大を図った。

(2) 博士課程社会人入学者一覧

学位取得予定者	所属	職名	入学月日	取得予定大学	学位	テーマ
矢野 拓	果樹グループ	主任研究員	博士後期課程 社会人入学 平成24年 4月1日	九州大学	農学	施設栽培ウンシュウミカンの高収量・省エネルギー化
岡崎 真一郎	農業研究部	主任研究員	博士後期課程 社会人入学 平成22年10月1日	九州大学	農学	ミカンキイロアザミウマとウイルスの動態に関する研究
木本 圭輔	水産研究部	主任研究員	博士後期課程 社会人入学 平成21年10月1日	広島大学	農学	大野川水系における在来アマゴ個体群の保全に関する研究

【農林水産部職員(H24年5月1日現在)の博士号取得者 14名】

農林水産研究指導センター所属:8名(内訳:水田(1)、畜産(2)、林業(1)、きのこ(2)、水産(2))、その他:6名

10. 主要な行事・会議等

(1) 主な行事・会議等一覧表

月 日	行事名等	場 所
H24年 7月 9日	農林水産部試験研究推進本部評価会議(農業)	正庁ホール
7月12日	農林水産部試験研究推進本部評価会議(畜産・林業・水産)	土地改良会館 大会議室
8月 8日	外部評価委員会	大分文化会館 第1小ホール
10月20～21日	農林水産祭(農林部門)への農業・畜産・林業研究展示	別府公園
10月27～28日	農林水産祭(水産部門)への水産研究展示	亀川漁港
H25年 2月15日	農林水産研究指導センター研究紹介	コンパルホール 多目的ホール

(2) 所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は4回、企画調整会議は4回開催した。

1.1. 各所属の業務・試験研究

所属名	主な業務・研究内容
農林水産研究指導センター (本部)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究課題の決定調整・進行管理 ○共同研究の調整・知的財産取得・活用 ○課題評価・成果公表 ○研究員の資質向上 ○産学官交流・連携促進
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○土壌管理・施肥改善技術、有機栽培技術 ○病虫害発生予察・防除技術、環境保全型農業技術 ○イチゴの品種育成・選定、栽培技術、バイオ技術 ○ネギ・ニラ等の品種選定、栽培技術 ○トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術 ○茶の品種選定、栽培・加工技術
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○稲・麦・大豆の品種の育成・選定 ○稲・麦・大豆の栽培技術、優良種子生産
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 ○カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○ナシ・ブドウ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種雄牛の造成、改良増殖 ○肉用牛・乳用牛の飼養技術、繁殖技術 ○飼料生産技術、放牧技術、家畜環境対策 ○豚の育種、飼養管理技術 ○家禽の育種、飼養管理技術
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○森林施業技術、スギ等育種、病虫獣害対策技術 ○木材乾燥技術、木材性能評価、製品開発、竹材加工技術
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○きのこの育種、栽培技術、病虫害防除技術 ○きのこ類の生理、分類、同定、経営に関する研究
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 ○養殖技術の開発、魚介類の疾病対策、漁場環境保全、水産物の品質向上技術
浅海・内水面グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○別府湾以北の漁場環境保全、海藻類の増養殖技術、魚介類の種苗生産、放流技術及び資源管理 ○淡水魚の増養殖技術、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術

12. 予算概要

平成24年度予算概要（当初予算[人件費を除く]）

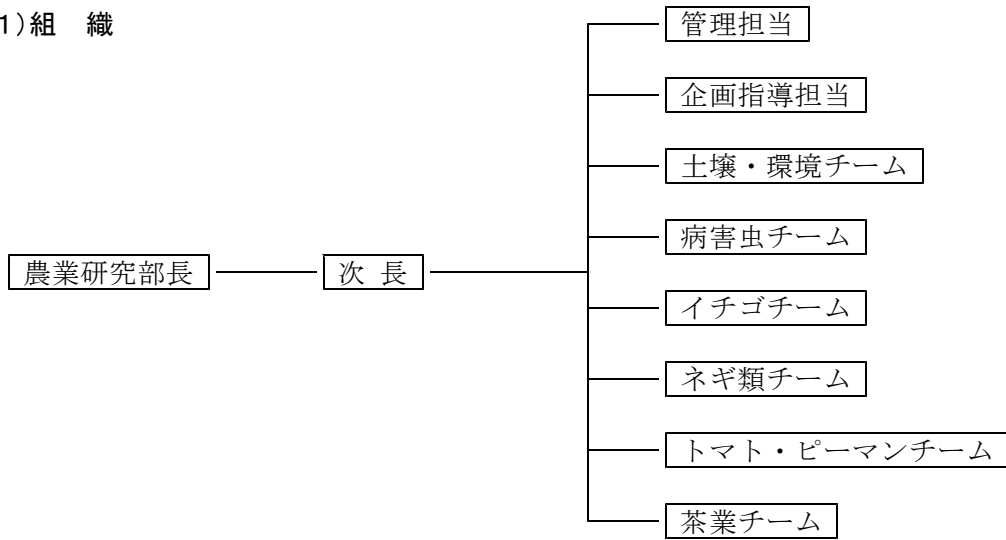
（単位：千円）

区 分	管理運営費	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費 （農林水産研究指導センター本部）	3,027		16,622	19,649
農業研究部	63,426	5,554	42,869	111,849
水田農業グループ	25,951	1,778	16,293	44,022
果樹グループ	11,095	1,221	27,178	39,494
花きグループ	14,242	6,265	10,165	30,672
畜産研究部	40,884	19,118	141,443	201,445
林業研究部	19,206	5,337	10,748	35,291
きのこグループ			15,032	15,032
水産研究部	38,224	6,801	38,226	83,251
浅海・内水面グループ	24,422	1,550	16,765	42,737
合計（農林水産研究指導センター）	240,477	47,624	335,341	623,442

Ⅱ 各研究部・グループの概要

Ⅱ-1 農業研究部

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	兼務 広域普及指導員 4名
次長		1						1	
管理担当		5		1			1	7	
企画指導担当			7					7	
土壌・環境チーム			6		1			7	
病害虫チーム			9					9	
イチゴチーム			6		1	1		8	
ネギ類チーム			4					4	
トマト・ピーマンチーム			5	1	1			7	
茶業チーム			2	1				3	
計		6	40	3	3	1	1	54	

(3) 業務

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③病害虫管理技術及び土壌管理技術
- ④植物検疫、病害虫発生予察情報、気象情報等の情報発信
- ⑤イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の品種選定・育種
- ⑥イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の高品質、省力・低コスト栽培技術
- ⑦バイオテクノロジー手法を用いた品種判別技術
- ⑧農産物の安全安心・病害虫管理・各種野菜生産等に関する既開発技術の現地移転ならびに指導者・生産者に対する指導

1. 平成24年度試験研究課題 (1/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
①ブランド化のための技術開発				
1 イチゴ新品種の育成				
1) 交配	イチゴチーム	病害虫チーム	H16～24	県単
2) 実生選抜	〃	〃	〃	県単
3) 系統選抜				
(1) 二次選抜	イチゴチーム		H16～24	県単
(2) 三次選抜	〃	病害虫チーム	〃	〃
(3) 四次選抜	〃	病害虫チーム、イチゴ品種育成支援プロ、山口県、九沖農研七他	〃	〃
4) 生産力・特性検定	〃	病害虫チーム、イチゴ品種育成支援プロ	〃	〃
5) 地域適応性試験	〃	品種育成支援プロ、振興局	〃	〃
2 県育成品種(大麦、カンキツ、イチゴ)のDNA鑑定法の開発				
1) オオムギの品種判別	イチゴチーム	水田G	H24～25	県単
2) カンキツの品種判別	〃	果樹G	〃	〃
3) イチゴの品種判別	〃		H24	〃
②マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
3 パッケージセンターと局所環境制御技術を活用した大規模高収益イチゴ経営モデルの構築				
1 局所環境制御等による生産安定技術の確立				
4) 灌水同時施肥と炭酸ガスの効率的施用による厳寒期の果実品質向上と増収技術				
(1) 施肥効果を判定するための基準作成(夏季)	イチゴチーム	土壌・環境チーム、佐賀県、九沖、長崎県、九電等	H22～24	国庫
(1) 施肥効果を判定するための基準作成(栽培期間中)	〃	〃	〃	〃
(2) 効率的な施肥技術の確立	〃	佐賀県、九沖、長崎県、九電等	〃	〃
(3) 炭酸ガス濃度制御方法	〃	〃	〃	〃
(4) 炭酸ガスの施用効果を高める肥培管理	〃	〃	〃	〃

1. 平成24年度試験研究課題 (2/7)

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目		
2	規模拡大のための省力・低コスト化技術の確立				
1)	作期分化に対応した省力育苗方法				
(1)	ランナー子苗を活用した省力・低コスト育苗	イチゴチーム	佐賀県、長崎県、九沖、九電等	H22～24	国庫
(2)	低温処理育苗を利用した作型前進技術	〃	〃	〃	〃
(3)	先しばり果発生要因の解明	〃	〃	〃	〃
(4)	マルチ後定植等の省力化技術における花芽分化促進方法	〃	〃	〃	〃
(5)	現地実証	〃	〃	〃	〃
4	大分イチゴのブランド化を図るための「大分3号」の高品質、収量安定技術の開発				
1)	「大分3号」の現地栽培支援	イチゴチーム	広域普及員、振興局、ブランド推進課	H23～25	県単
5	安全生産技術に対する研究				
1)	普通作物の病害虫防除対策				
(1)	水稲病害虫防除の効率化、体系化				
ア	水稲・大豆害虫の個別防除効果試験	病害虫チーム	豊肥振興局	H22～24	委託
2)	野菜類病害虫に対する薬剤選定				
(1)	野菜類病害に対する薬剤選定（トマト・ピーマン・ネギ・ニラ）	病害虫チーム	中部振興局	長期	県単一部委託
(2)	野菜類害虫に対する薬剤選定（ピーマン・小ネギ・ニラ）	〃		H22～24	〃
(3)	野菜類害虫に対する薬剤選定ー2（生物農薬）（イチゴ・ピーマン）	〃		H22～24	〃
6	有機農業適応技術の検証と品質への影響評価				
1)	水稲に関する栽培技術支援				
(1)	水稲における実態調査				
ア	病害虫に関する実態調査	病害虫チーム	水田G、北部局、西部局	H22～24	県単
2)	野菜に関する栽培技術支援				
(1)	野菜における現地実態調査	土壌・環境チーム		H22～24	県単
(2)	病害虫防除技術の検証及び開発				
ア	畑作レタス	病害虫チーム	土壌・環境チーム、各振興局	H22～24	県単
(3)	緑肥作物等を利用した抑草技術	土壌・環境チーム		〃	〃

1. 平成24年度試験研究課題 (3/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
4) 茶に関する栽培支援技術				
(1) 有機質肥料の施用時期の検討	茶業チーム	中部局、広域普及指導班	H22～24	県単
(2) 主要害虫に対応する散布可能な資材効果の把握	〃	〃		〃
5) 有機栽培（野菜）が土壌、微生物相、内容成分に与える影響				
(1) 有機栽培（野菜）が土壌微生物相に与える影響	土壌・環境チーム		H22～24	県単
(2) 野菜の内容成分と食味への影響調査	〃	別府大	〃	〃
6) 有機農業栽培マニュアル・事例集の作成				
(1) 有機農業栽培指針の策定	土壌・環境チーム、病害虫チーム、茶業チーム、水田G、果樹G	各グループ	H22～24	県単
7 園芸戦略品目の総合的土壌管理手法の確立				
1) 土壌物理性の診断法検討				
(1) トマト、(2) ピーマン、(3) 小ネギ、(4) ニラ	土壌・環境チーム	関係振興局、各品目PT班	H21～24	県単
2) 有機物の診断方法検討				
(1) 肥料養分の迅速診断技術	土壌・環境チーム		H21～24	県単
8 水耕養液の長期利用技術の確立				
1) みつばにおける循環型養液栽培モデルの検証				
(1) 養液成分の動態調査および養液管理ソフトの改良	土壌・環境チーム	中部局、豊肥局	H24～25	県単
(2) 養液中の有機酸除去技術の開発	〃	中部局	H24	〃
9 根深ネギの大規模経営体のための周年安定生産技術の確立				
1) 平坦地での秋冬ネギの安定生産技術の確立				
(1) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 現地試験	ネギ類チーム	北部局	H24～26	県単
(2) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 場内試験	〃	北部局	〃	〃
(3) 品種及び煎葉が初期生育に及ぼす影響	〃	北部局	〃	〃
2) トンネル被覆栽培での5月収穫ネギの追肥・かん水技術の確立				
(1) トンネル被覆開始時期が生育、収量に及ぼす影響	ネギ類チーム	北部局	H24～26	県単
(2) 追肥とかん水が生育、抽だい、収量に及ぼす影響	〃	北部局	〃	〃

1. 平成24年度試験研究課題 (4/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
10 大分ブランド高品質カンショ「甘太くん」の安定生産技術の確立				
1) 栽培管理技術				
(1) 土壌理化学改良技術の確立	ネギ類チーム	土壌・環境チーム、中部局、豊肥局、九沖農研センター	H24～26	県単
2) 貯蔵管理技術				
(1) 糖度安定向上技術の確立 ①低温処理	ネギ類チーム	中部局、豊肥局、九沖農研センター	H24～26	県単
(1) 糖度安定向上技術の確立 ②糖度測定法	〃	〃	H24～26	〃
(2) 腐敗果軽減技術	〃	〃	〃	〃
(3) 低温遭遇時間	〃	〃	H24～26	〃
11 イチゴのうどんこ病とクロバネキノコバエ類の防除対策				
1) うどんこ病の予防体系の確立				
(1) 無病苗の選抜法の確立	病害虫チーム		H24～26	県単
(2) 防除判定基準の設定	〃	各振興局	〃	〃
(3) 有効薬剤の選定	〃		長期	委託
2) クロバネキノコバエ類の防除対策				
(1) 発生実態調査	病害虫チーム	東京大学、各振興局、イチゴチーム	H24～26	県単
(2) 有機質資材調査	〃		〃	〃
(3) 有効薬剤の探索	〃		〃	〃
12 病害虫発生予察事業				
2) 発生予察技術支援対策				
(1) ウイルス保毒虫、薬剤抵抗性害虫の検定	病害虫チーム	各振興局	H22～24	県単、一部国庫

1. 平成24年度試験研究課題 (5/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
13 農薬残留特殊調査 (マイナー作物への登録拡大)	土壌・環境チーム、病害虫チーム	中部局、北部局、西部局	H22～24	県単、一部国庫
14 根深ネギに突発的に発生するネダニ類の防除対策				
1) 発生実態調査				
(1) 発生種、発生消長調査	病害虫チーム	各振興局	H24～26	県単、一部委託
(2) ネダニ類発生圃場における軟腐病発生実態調査	〃	〃	〃	〃
3) 防除技術の確立	〃	〃	〃	〃
③力強い担い手を育成するための技術開発				
15 新需要に対応した新たな茶生産技術の確立				
1) 既存園における高位安定生産のための整・剪枝技術の確立				
(1) 秋・春整枝時期による作期分散技術	茶業チーム		H19～24	県単
(3) 主要品種の秋摘み茶生産技術	〃		〃	〃
2) ドリンク茶等新規造成茶園における新品種の安定多収技術の確立				
(1) 多収品種の施肥効率の改善	茶業チーム	中部振興局、土壌・環境チーム、実需者	H19～24	県単
(2) 新植茶園の気象データの収集	〃		〃	〃
④地球温暖化・環境対策等の技術開発				
16 チャの難防除害虫の効率的な防除技術の確立				
1) 難防除害虫に対する発生予測と防除技術の確立				
(1) チャトゲコナジラミの発生予測と防除技術の確立				
① 発生消長調査	茶業チーム	東部振興局	H23～25	県単
② 防除薬剤、防除時期の検討	〃	東部振興局	〃	県単一部委託
(2) クワシロカイガラムシのふ化予測技術の確立				
① 茶園内での気温とふ化率の変化	茶業チーム	東部、北部、中部、豊肥局	H23～25	県単
② 現地茶園温度データ採取	〃	〃	〃	〃
2) 越冬害虫の密度低減技術の確立				
(1) 秋期防除・せん枝によるチャノホソが越冬密度低減技術	茶業チーム		H23～25	県単
(2) 秋期防除・せん枝によるウスミドリカスミガメ越冬密度低減技術	〃		〃	〃
3) 薬剤感受性低下に対応した防除技術の確立				
(1) カンザワハダニに対する各種薬剤の検定	茶業チーム	病害虫チーム	H23～25	県単
(2) チャノキイロアザミウマに対する各種薬剤の検定	〃	〃	〃	〃

1. 平成24年度試験研究課題 (6/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
17 高温基調下での気象変化に対応したトマトの安定出荷技術				
1) 生理障害軽減のための気象状況(予測)を考慮した灌水技術				
(1) 生理障害回避のための要因分析(夏秋地帯)(水管理)	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 生理障害回避のための要因分析(夏秋地帯)(赤採りトマト)	〃	豊肥局、西部局	〃	〃
2) 出荷量平準化技術と出荷予測システムの開発				
(1) 前期作型(半促成) + 後期作型(抑制) 技術の確立	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 出荷予測のための条件設定	〃	豊肥局、西部局	〃	〃
3) 一段密植栽培における出荷平準化技術				
(1) 高温期の着果安定(品種比較)	トマト・ピーマンチーム		H23～25	県単
(2) 高温期の着果安定(専用組成、二段取り)	〃		〃	〃
(3) 栽培ベットの改良	〃		〃	〃
18-1 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
1 温暖化に対応した栽培技術の確立				
1) 高温対策技術の開発				
(1) 合理的なかん水方法の確立	トマト・ピーマンチーム	土壌・環境チーム	H24～26	県単
(2) 初期生育における保水資材の活用方法の確立	〃	〃	〃	〃
(3) 高温耐性品種の選定	〃		〃	〃
2) 防虫ネット全面展張方法の改良	〃	病害虫チーム	〃	〃
18-2 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
2 温暖化等気象変動に対応した夏秋ピーマンの水・肥培管理技術の確立				
1) 気象変動に対応した水管理技術の検討				
(1) 生育ステージに応じた適正な水管理条件の検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単
(2) 各産地における水管理実態調査	〃	トマト・ピーマンチーム、ピーマンPT班	〃	〃
2) 気象変動に対応した肥培管理技術の検討				
(1) スターター肥料と緩効性被覆肥料組み合わせの検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単

1. 平成24年度試験研究課題 (7/7)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
18-3 西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立 3 夏秋ピーマンにおいて近年顕在化したタバコガ類と白絹病に対する防除技術の確立				
1) タバコガ類の防除対策				
(1) タバコガ類種構成調査	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥、西部局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
(2) 越冬実態の解明	〃	〃	〃	〃
(3) 有効な薬剤の探索	〃	〃	〃	〃
(4) 防除適期の把握				
①数値に基づいた発生予察手法の確立				
ア) タバコガ有効積算温度とトラップ誘殺数の関係	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥、西部局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
②総合防除対策の確立				
ア) 防虫ネット展張ハウスでの総合防除対策	病害虫チーム	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥局、JA大分	H24～26	県単、一部国庫
2) 白絹病の防除対策				
(1) 発生生態の解明	病害虫チーム	中部局	H24～26	県単
(2) 防除技術の確立	〃	〃	〃	〃
19 環境負荷を低減する低コスト施肥技術の開発				
1) 土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業	土壌・環境チーム	全振興局、家畜衛生飼料室	H20～24	国庫委託(一部県単)
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
イチゴのウイルスフリー苗の育成	イチゴチーム	病害虫チーム	長期	県単
カンショの茎頂培養によるウイルスフリー苗とサトイモ優良種苗保存育成	〃	ネギ類チーム	〃	〃
カンショの品種選定	ネギ類チーム	九州沖縄農業研究センター	〃	〃
茶の品種選定	茶業チーム	(独)野茶研、各県茶試験場	〃	〃

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大分の有機栽培（基本技術・研究成果・事例集）	H25. 3. 21	145	—
ドリンク茶栽培マニュアル	H25. 3. 29	10	20
大分県農林水産研究指導センター研究報告（農業研究部編）第3号	H25. 3. 25	30	150

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載項
安部貞昭、佐藤 如、戸井田雄一、山崎真居	炭酸ガスの午前午後施用がイチゴ‘さがほのか’の生育、収量、品質に及ぼす影響、	園芸学研究	第11巻別冊2	181
安部良樹	トルコギキョウのSSRマーカーの開発と品種内多型の解析	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集	第75回	155
上谷麻梨恵	高温対策事例 夏秋トマト	「福岡の野菜」	平成25年春季号	14-15
岡崎真一郎、玉嶋勝範、雨川公洋ら	夏秋ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの主要微小害虫に対する防除効果と硫黄粉剤畝上散布が密度に及ぼす影響	九州病害虫研究研究会報	58	66-72
奥田しおり、岡崎真一郎ら	Competence of <i>Frankliniella occidentalis</i> and <i>Frankliniera intonsa</i> strains as vectors for <i>Chrysanthemum stem necrosis virus</i>	European Journal of Plant Pathology	136(2)	355-362

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24. 3. 27	第57回日本応用動物昆虫学会	岡崎真一郎	ネオニコチノイド系薬剤に対して感受性低下したワタアブラムシの初確認
H24. 3. 27	第57回日本応用動物昆虫学会	加藤幸太郎、能見伊久絵、岡崎真一郎	施設イチゴにおけるクロバネキノコバエ類成虫の発消長調査に有効な黄色粘着シートの選定
H24. 8. 28	園芸学会九州支部	姫野和洋	夏秋ピーマンにおけるかん水方法が尻腐れ果の発生に及ぼす影響
H24. 8. 28	園芸学会九州支部	上谷麻梨恵	夏秋トマトの簡易果房遮光及びUVカットフィルムによる裂果軽減効果

(3) 研究会、学会等での発表(つづき)

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24. 9. 12	九州・沖縄マッチングフォーラム (ポスター展示)	祖田嘉教	ピーマン軟腐病の発生生態と防除対策
H24. 9. 13	平成24年度九州沖縄農業研究発表 会 野菜・花き部会	安部良樹	トルコギキョウのSSRマーカーの開 発と品種内多型の解析
H24. 9. 22	園芸学会平成24年秋季大会	安部貞昭	炭酸ガスの午前午後施用がイチゴ‘さ がほのか’の生育、収量、品質に及ぼ す影響、
H24. 11. 14	第82回九州病害虫研究会秋季大会	小野元治、武政彰、 和田志乃、岡崎真一 郎	ダイズの子実加害性カメムシ類に対す る主要薬剤の防除効果
H24. 11. 14	第82回九州病害虫研究会秋季大会	岡崎真一郎	近年大分県の夏秋ピーマンで多発生す るワタアブラムシに対する各種薬剤の 殺虫効果
H25. 1. 30	平成24年度九州沖縄農業試験研究 推進会議 野菜・花き部会	手嶋 康人	根深ネギの中間値での5~6月収穫に向 けた品種及び抽だい抑制技術の確立
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	小野元治、祖田嘉教	大分県内の根深ネギで採集されたネダ ニモドキ属の一種に有効な薬剤
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	後藤英世、岡本潤、 鈴木智範	イチゴうどんこ病の近年の発生消長と 夏期高温育苗による防除効果
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	岡本潤、雨川公洋	大分県におけるQoI剤耐性イネいもち 病の発生
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	雨川公洋、大坪亮 介、山崎修一	果実各部位に対するピーマン軟腐病の 発病リスクの検討
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	祖田嘉教、岡崎真一 郎、小野元治	根深ネギにおける植物病原菌類に対す るネダニ類の選好性
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	鈴木智範、岡本潤、 祖田嘉教、吉松英明	大分県におけるダイズ紫斑病耐性菌の 発生実態
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	加藤幸太郎、和田志 乃、小野元治	大分県におけるイチゴのナミハダニに 対する各種薬剤の殺虫効果
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	上島慧里子、岡崎真 一郎、玉嶋勝範	夏秋ピーマンにおけるタバコガ類の発 生予察基準策定に向けた取り組み
H25. 2. 5	第82回九州病害虫研究会春季大会	玉嶋勝範	大分県におけるナシマダラメイガの発 生時期

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
発生予察委託事業中間検討会	H24.9.27	国民宿舎久住高原荘	1	28
研究紹介	H25.2.15	大分市コンパルホール	1	100
土壌肥料・病害虫に関する研究会	H25.3.15	豊後大野市 きのこセンター	2	200

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H24.6.6	玖珠九重地区夏秋ピーマン生産者研修会	JA玖珠選果場	40	西部振興局
H24.6.14	野津町茶生産組合かぶせ茶研修会	農業研究部	8	野津町茶生産組合
H24.7.5	いちご生産者協議会研修会	農業文化公園	150	
H24.7.6	本匠因尾茶生産組合茶園管理講習会	佐伯市因尾	15	因尾茶生産組合
H24.7.6	大分県野菜生産者協議会トマト部会研修会	JAおおいた臼杵事業部	20	大分県野菜生産者協議会トマト部会
H24.7.18	大分県茶品評会	農業研究部	2	大分県茶業協会
H24.7.26	大分県茶業協会紅茶研究会	農業研究部	11	大分県茶業協会
H24.8.2	ピーマン園芸技術者協議会研修会	農業研究部	30	園芸技術者協議会
H24.8.7	大分県茶業協会紅茶研究会加工研修	農業研究部	10	大分県茶業協会
H24.8.22	大分県園芸技術者協議会イチゴ研修会	全農おおいた	30	
H24.8.28	緒方茶生産組合研修会	豊後大野市緒方町	8	緒方茶生産組合
H24.8.28	専門能力強化研修（土壌肥料基礎）	豊後大野市	8	研究普及課
H24.9.11	専門能力強化研修（土壌肥料応用）	豊後大野市	8	研究普及課
H24.9.20	茶業青年会一番茶作柄検討会	農業研究部	9	大分県茶業青年会
H24.10.12	第1回「北部地域白ねぎ若手生産者勉強会	豊後高田市 呉崎公民館	20	北部振興局
H24.10.15	トマト園芸技術者協議会研修会	竹田市ほか	30	園芸技術者協議会
H24.10.15	園芸技術者協議会白ネギ研修会	大分市	21	大分県園芸技術者協議会
H24.10.30	大分県園芸技術者協議会イチゴ研修会	農業研究部	30	
H24.11.16	サニープレイスファーム支援会議	佐伯市	10	南部振興局
H24.11.21	ピーマンプロ班土壌物理性調査研修会	野津町、竹田市 市現地ほ場	10	ピーマンプロ班、JA
H24.11.30	最新の病害虫に関する研修会	三重総合高校	20	学校教育課
H24.12.12	JAみどりトマト部会茨支部反省会	竹田市	100	JAみどりトマト部会
H24.12.12	豊後高田市市民園芸講座土づくり研修会	豊後高田市	58	豊後高田市
H24.12.13	施肥・防除対策研修会	農業文化公園	150	おおいたブランド推進課
H24.12.18	ドリンク法人研修会	農業研究部	22	園芸振興室、伊藤園農業技術部

(1) 講習会、研修会等の開催（つづき）

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H25. 1. 24	ピーマン園芸技術者協議会研修会	豊後大野市	25	園芸技術者協議会
H25. 1. 24	大分県園芸技術者協議会ピーマン研修会	農林水産研究指導センター	30	園芸振興室
H25. 1. 25	白ネギ若手生産者研修会	豊後高田市	20	北部振興局
H25. 1. 29	トマト園芸技術者協議会研修会	杵築市	26	園芸技術者協議会
H25. 2. 1	平成24年度（株）伊藤園品質管理研修会	県庁	51	伊藤園農業技術部
H25. 2. 19	ピーマン生産者協議会研修会	豊後大野市	200	生産者協議会
H25. 2. 19	大分県野菜生産者協議会ピーマン部会研修会	豊後大野市	200	大分県園芸技術者協議会ピーマン部会
H25. 2. 21	大分県園芸技術者協議会全員研修会野菜分科会	大分県教育会館	50	
H25. 2. 26	農薬指導士認定研修	大分県教育会館	100	おおいたブランド推進課
H25. 2. 27	平成24年度農業高校生チャレンジ支援事業（外部講師招聘授業）	佐伯市	9	大分県立佐伯鶴岡高等学校

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

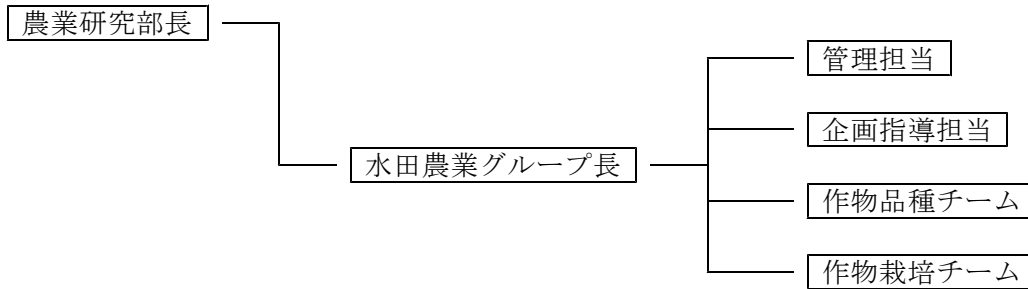
②短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	35	325
団体等職員	11	15
普及指導員	55	142
学生	2	41
海外研修者	0	0
その他	15	41
計	118	564

(3) 指導・研修プロジェクトの実証 なし

II-2 水田農業グループ

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	広域普及指導員 1名
管理担当		3					1	4	
企画指導担当			2					2	
作物品種チーム			4		1			5	
作物栽培チーム			4		4			8	
計		3	11		5		1	20	

(3) 業務

- ①水田農業の確立に関する試験研究
- ②水稲・麦・大豆の新品種育成及び栽培技術改善
- ③水稲・麦・大豆優良種子生産事業
- ④米・麦・大豆の安全安心技術に関する試験研究
- ⑤気象情報及び技術情報の管理と情報発信

1. 平成24年度試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携機関	試験期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 (1) 試験項目				
産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
I ブランド化のための技術開発				
1 大分ブランド確立のための焼酎用大麦品種の育成	作物品種	大分県酒造組合、産業科学技術センター	H17~26	県単
2 水稲・麦・大豆の品種選定	作物品種 作物栽培	振興局、(独)農研機構	H22~24	県単
II マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
3 有機農業適応技術の検証と品質への影響評価 (1) 水稲に関する栽培支援技術	作物栽培	農業研究部	H22~24	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発				
4 水位制御技術を用いた節水・省力型の土地利用作物輪作体系の構築	作物栽培	水田底力コンソーシアム、九州大学	H24~26	委託
5 中山間地域を中心とした畦畔管理の省力・低コスト技術の開発	作物栽培	振興局	H24~26	県単
IV 地球温暖化・環境対策等の技術開発				
6 地球温暖化に対応した高温登熟耐性に優れる水稲早生品種の選定	作物品種	振興局、(独)農研機構農業研究部、別府大学	H20~24	県単
V 地球資源の活用と省エネルギーの技術開発				
7 戦略品目としての水稲飼料作栽培モデルの確立	作物栽培	畜産研究部	H24~26	県単
研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
8 主要農作物等種子対策事業 (1) 稲、麦、大豆原種育成及び特別増殖圃設置事業 (2) 稲、麦、大豆原種生産	作物栽培	集落・水田対策室	H22~24	県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
水田夏作成績書	H24. 4. 16	225	50
水田冬作成績書	H24. 12. 3	72	50
有機農業適応技術の検証と品質への影響評価（水稻の栽培事例）	H25. 3	40	200
つや姫栽培マニュアル	H25. 3	8	1000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24. 9. 13	九州農業研究発表会	清水康弘	大分県における極早生品種「つや姫」の生育特性
H24. 9. 13	九州農業研究発表会	菊屋良幸	大分県における飼料米品種の選定と栽培法の確立 (第1報 品種選定)
H24. 9. 13	九州農業研究発表会	菊屋良幸	大分県における飼料米品種の選定と栽培法の確立 (第2報 「ホシアオバ」栽培法の確立)

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
全国つや姫フォーラム2012 inおおい	H24. 8. 30	別府市	1	170

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H24. 4. 20	つや姫栽培研修会	杵築市山香町	30	東部振興局
H24. 5. 10	麦成熟期研修会	水田農業グループ	28	県共済組合連合会
H24. 6. 13	畦畔用被覆植物植付研修会	水田農業グループ	20	集落・水田対策室
H24. 7. 6	大豆栽培管理研修会	水田農業グループ	70	北部振興局
H24. 7. 9	つや姫栽培研修会	中津市山国町	15	北部振興局
H24. 7. 11	つや姫栽培研修会	杵築市山香町	50	東部振興局
H24. 7. 13	つや姫栽培研修会	宇佐市院内町	10	北部振興局
H24. 7. 20	つや姫栽培研修会	竹田市	30	豊肥振興局
H24. 8. 7	大豆栽培管理研修会	水田農業グループ	70	北部振興局
H24. 8. 17	作物担当普及員プロジェクト研修	水田農業グループ	25	研究普及課
H24. 9. 3	採種圃担当者研修会	水田農業グループ	25	集落・水田対策室
H24. 9. 11	つや姫栽培研修会	竹田市	60	豊肥振興局
H24. 11. 5	作物担当普及員プロジェクト研修	水田農業グループ	42	研究普及課
H24. 12. 20	つや姫栽培研修会	佐伯市	15	南部振興局
H25. 1. 16	麦栽培研修会	杵築市	20	東部振興局
H25. 1. 23	つや姫栽培研修会	竹田市	30	豊肥振興局
H25. 3. 12	つや姫栽培研修会	日田市	25	西部振興局

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

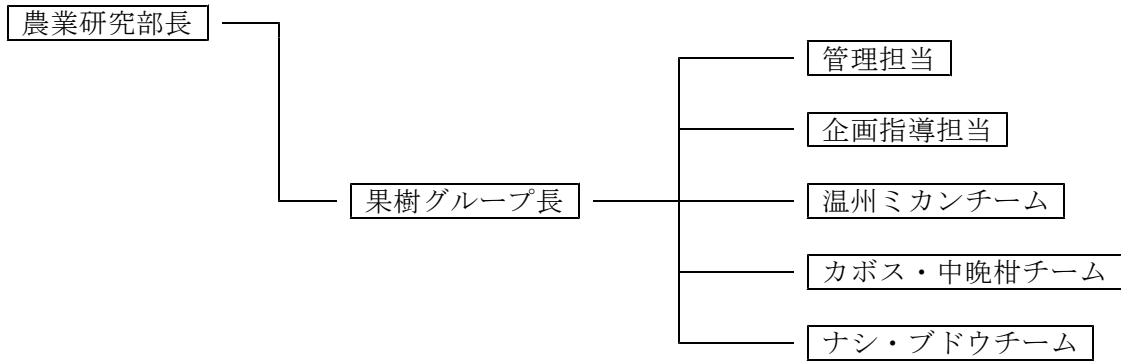
対象者	件数	受入人数
生産者	4	152
団体等職員	1	28
普及指導員	8	131
学生	1	17
海外研修者	3	42
その他	6	156

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
水稲新品種「つや姫」大規模現地実証 つや姫PT	大規模実証圃を設置し、各地域の栽培特性を把握するとともに、現地普及を図る。	県下14地区に1ha規模の栽培実証圃14圃場を設置し、実証展示を行うとともに、栽培講習会を開催した。

Ⅱ-3 果樹グループ

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種		技 師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備 考
	事務	技術						
グループ長		1					1	広域普及指導員 2名
管理担当	1					1	2	
企画指導担当		3					3	
温州ミカンチーム		3		2			5	
カボス・中晩柑チーム		4		1			5	
ナシ・ブドウチーム		5	3				8	
計	1	16	3	3		1	24	

(3) 業 務

- ① 温州ミカンの品種に関する試験研究
- ② 温州ミカンの露地栽培に関する試験研究
- ③ ハウスミカンに関する試験研究
- ④ 施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤ カンキツの土壌肥料に関する試験研究
- ⑥ カンキツの病害虫に関する試験研究
- ⑦ カンキツの品種に関する試験研究
- ⑧ 中晩生カンキツの露地栽培に関する試験研究
- ⑨ カボスの栽培・貯蔵に関する試験研究
- ⑩ カンキツの病害虫に関する試験研究
- ⑪ 落葉果樹の品種に関する試験研究
- ⑫ ナシに関する試験研究
- ⑬ ブドウに関する試験研究
- ⑭ 落葉果樹の病害虫に関する試験研究

1. 平成24年度試験研究課題

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I	大課題 1 中課題				
I ブランド化のための技術開発					
1	果樹のオリジナル品種の育成	カボス中晩柑T		22～24	県単
2	常緑果樹の品種適応性試験	温州ミカンT カボス中晩柑T		22～24	県単
3	カンキツ新品種「大分果研4号」の高品質化技術	カボス中晩柑T		21～25	県単
4	省エネ施設栽培に適するカンキツ新品種の選定と栽培技術確立	カボス中晩柑T		20～24	県単
5	落葉果樹の品種適応性試験	ナシ・ブドウT		長期	県単
6	次世代を担うナシ新品種の栽培技術の確立	ナシ・ブドウT		22～24	県単
7	ブドウ新品種「シャインマスカット」の高品質・安定生産技術	ナシ・ブドウT		21～25	県単
II マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
8	生き残りをかけた高付加価値ミカン栽培技術	温州ミカンT		21～25	県単
9	カボスの多様な流通形態に対応する栽培・貯蔵技術	カボス中晩柑T		22～24	県単
10	現地ニーズに対応した新着花予測法の緊急確立と栽培管理への応用	温州ミカンT		22～24	県単
11	カンキツ病害虫防除並びに植物成長調節剤に関する試験	温州ミカンT カボス中晩柑T		22～24	県単
12	落葉果樹の病害虫防除並びに植物成長調節剤に関する試験	ナシ・ブドウT		23～25	県単
13	ブドウ産地再興をかけた特色あるワイン専用品種の開発	ナシ・ブドウT	三和酒類	24～26	県単
14	有機農業支援研究	カボス中晩柑T		22～24	県単
III 力強い担い手を育成する育成するための技術開発					
15	ナシの大苗育苗と流線型仕立てによる早期成園化技術の確立	ナシ・ブドウT		23～25	県単
IV 地域資源の活用と省エネルギーの技術開発					
16	脱暖房新栽培システムと被覆改善によるハウスミカン栽培技術の確立	温州ミカンT	九州大	24～26	県単
V 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立					
	農業情報の提供（生態調査）	温州ミカンT カボス中晩柑T ナシ・ブドウT		長期	県単
	優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の供給	温州ミカンT カボス中晩柑T ナシ・ブドウT		長期	県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成23年度大分県農林水産研究指導センター果樹グループ試験研究年報CD版	平成24年3月	237	180

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
小原 誠	大分県における果樹品種の動向と展望	果実日本	6月号	81～84
檜原 稔	「大分県におけるカンキツ類の後期病害虫防除のポイント」	新農業技術新聞	1905号	5
矢野 拓	自然形を基本としたハウスミカンの垣根仕立て	果実日本	2月号	52～55
福田賢二	「大苗工場」と「流線型仕立」によるナシの早期成園化の魅力	果実日本	2月号	48～51

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.9.4	日本生物環境工学会	矢野 拓	ウンシュウミカン果実への物質集積に関する環境生理学的研究
H24.9.22	園芸学会平成24年度秋季大会	福田賢二	大苗と流線型仕立によるニホンナシの超早期成園化技術の確立
H25.2.5	落葉果樹研究会(つくば市)	福田賢二	大苗と「流線型仕立」によるニホンナシの超早期成園化技術の確立

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
園芸関係表彰式	H25.1.30	トキハ会館	パネル展示	100名

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.5.10	ナシ流線型仕立研修会	由布市庄内町	20	中部振興局
H24.6.8	大分県研4号研修会	カボス・中晩柑チーム	50	柑橘研究会
H24.6.8	完熟デコボン研修会	県南柑橘選果場	50	柑橘研究会
H24.7.3	大分市ミカンバエ防除対策研修会	大分市	30	大分市、中部振興局
H24.7.3	臼杵市ミカンバエ防除対策研修会	県南柑橘選果場	15	臼杵市、中部振興局
H24.8.17	県なし研究会研修会	宇佐市(ナシ・ブドウT)	20	県なし研究会
H24.8.22	露地みかん研修会	杵築柑橘選果場	90	柑橘研究会
H24.9.7	ナシ「あきづき」収穫適期研修会	日田市(ナシ選果場)	100	日田ナシ部会
H24.9.19	ハウスみかん部会役員研修	杵築柑橘選果場	30	柑橘研究会
H24.9.20	日田ナシ大学	日田市(ナシ選果場)	90	日田ナシ部会
H24.9.21	県南ハウスミカン部会研修会	佐伯市	30	県南ハウスみかん部会
H24.10.2	みかん園検査識別研修	大分市	50	おおいたブランド推進課
H24.10.22	ナシ流線型仕立研修会	日田市(ナシ選果場)	12	日田ナシ部会
H24.11.18	日本ブドウ・ワイン学会研修会	宇佐市(ナシ・ブドウT)	45	日本ブドウ・ワイン学会
H24.11.20	落葉果樹剪定研修会	宇佐市(ナシ・ブドウT)	15	園芸技術者協議会
H24.11.26	大分県ナシ研究会剪定研修会	日田市(ナシ選果場)	157	大分県ナシ研究会
H24.11.29	大分県研4号出荷査定会	県南柑橘選果場	30	柑橘研究会

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.12.11	カンキツ品種検討会	温州ミカンチーム	30	園芸技術者協議会
H24.12.18	津久見市ミカンバエ発生対策研修	津久見市	20	津久見市
H25.2.6	平成24年度カボス地区別研修会	臼杵市	80	大分県カボス生産者協議会
H25.2.12	日田ナシ大学	日田市(ナシ選果場)	90	日田ナシ部会
H25.2.13	耐性菌学習会	宇佐市(ナシ・ブドウT)	20	研究普及課
H25.2.18	平成24年度カボス地区別研修会	豊後高田市	51	大分県カボス生産者協議会
H25.2.27	平成24年度カボス地区別研修会	竹田市	73	大分県カボス生産者協議会
H25.3.5	ハウスミカン研修会(天敵)	県南柑橘選果場	30	柑橘研究会
H25.3.11	玖珠郡ナシ研究会研修会(総会)	玖珠町	15	玖珠郡ナシ研究会
H25.3.13	施設中晩柑検討会	温州ミカンチーム	10	杵築市柑橘研究会
H25.3.19	天瀬ぶどう部会講演会	天瀬町	35	天瀬ぶどう部会
H25.3.21	大分県ブドウ研究会研修会	宇佐市(ナシ・ブドウT)	58	大分県ブドウ研究会

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

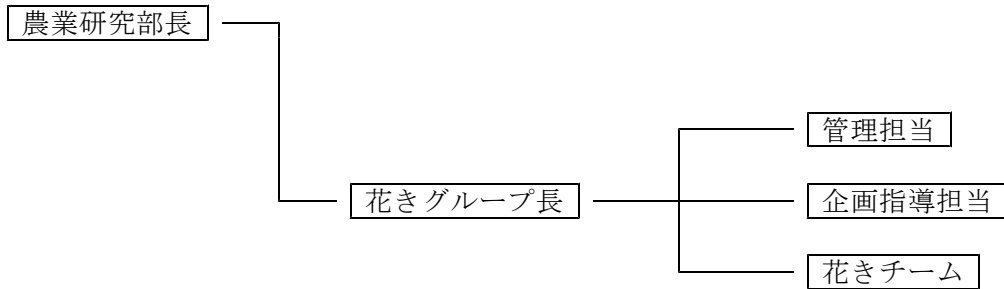
対象者	件数	受入人数
生産者	93	511
団体等職員	48	95
普及指導員	40	208
学生	7	86
海外研修者	1	15
その他	20	300
計	209	1215

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ナシ難防除病害虫の防除技術の開発	ナシの炭疽病に対する防除体系の普及を図る	病害の発生状況を調査し、防除効果の検証を行いながら、産地への技術指導を行なった。炭疽病の防除体系の普及が図られ、被害面積が減少した。薬剤耐性菌に対する産地の意識が高まり、蔓延防止の取り組みが行われた。
果樹のオリジナル品種の育成	県オリジナル品種「おおいた早生」「大分果研4号」の普及とブランド化を図る。	ハウスミカンから燃油使用量の少ない「おおいた早生」「大分果研4号」への更新を接ぎ木実証園を設置し推進した。その結果、「おおいた早生」と「大分果研4号」の施設面積が拡大した。

Ⅱ-4 花きグループ

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	広域普及指導員 1名
管理担当		1						1	
企画指導担当			2					2	
花きチーム			5	1		1		7	
計		1	8	1		1		11	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②花きの研究成果の現地普及
- ③花き優良種苗の供給
- ④花き指導者、生産者に対する指導

1. 平成24年度試験研究課題

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
① ブランド化のための技術開発				
1 キクの育種と優良系統の選抜				
1) 夏秋輪ギク交配系統の選抜	花きチーム		22～24	県単
2) 夏秋小ギク交配系統の選抜	花きチーム		22～24	県単
3) 主力白色品種の系統選抜	花きチーム		22～24	県単
2 ヤマジノギクの育種と安定供給に向けた栽培技術の確立				
1) 新しい系統の作出	花きチーム		22～24	県単
2) 出荷期間拡大のための技術確立	花きチーム		22～24	県単
3 ホオズキの量販需要対応技術開発と生理解明				
1) 量販需要対応技術確立	花きチーム		23～25	県単
2) 生理解明	花きチーム		23～25	県単
4 大分県オリジナルトルコギキョウの育種と栽培技術の確立				
1) 優良F1系統の育成	花きチーム		23～25	県単
2) 優良オリジナル品種の作型適応性	花きチーム		23～25	県単
② マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
1 花き類の新病害虫の同定と環境保全型防除技術の確立				
1) 病害虫診断と新病害虫の同定	花きチーム	病害虫チーム	22～24	県単
2) 病害虫の効率的防除法確立	花きチーム	病害虫チーム	22～24	県単・受託
3) 環境保全型防除技術の確立	花きチーム	病害虫チーム	22～24	県単
1 花き類の日持ち性の評価と鮮度保持対策				
1) 花き類の日持ち性の評価	花きチーム		23～25	県単
2) 花き類の鮮度保持対策	花きチーム		23～25	県単
③ 力強い担い手を育成するための技術開発				
1 バラの新たな冬期栽培管理技術の開発				
1) 一時休眠作型における栽培管理技術	花きチーム		24～26	県単
2) 移動栽培	花きチーム		24～26	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
<優良種苗供給>				
1 ヤマジノギク（親株配布）	花きチーム			県単
2 オリジナルトルコギキョウ（種子配布）	花きチーム			県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
わい性トルコギキョウ(チェリービー)栽培マニュアル	H24.9.1	12	30

(2) 学会誌、専門誌への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
吉松 修治	異なる光源による長日処理がスイートピーに与える影響	九州農業研究発表会発表要旨集	第75回	159
米田 恵美	ホオズキに寄生するネコブセンチュウ類防除法	九州農業研究発表会発表要旨集	第75回	160
甲斐 千代	ホオズキの葉枯れ症状の原因解明	九州沖縄農業試験研究の成果情報	九農研HP	
吉松 修治	トルコギキョウの二度切り栽培に適した品種の選定	九州沖縄農業試験研究の成果情報	九農研HP	
後藤 愛	アルストロメリアの有望品種	九州沖縄農業試験研究の成果情報	九農研HP	

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.9.13	九州農業研究発表会	吉松 修治	異なる光源による長日処理がスイートピーに与える影響
H24.9.13	九州農業研究発表会	米田 恵美	ホオズキに寄生するネコブセンチュウ類防除法

(4) 研究成果発表会等 なし

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.5.25	チェリービー栽培等研修会	花きグループ	9	主催
H24.8.16	ホオズキは種研修会	花きグループ	18	主催
H24.8.21	チェリービー栽培等研修会	花きグループ	10	主催
H24.10.23	趣味の園芸講座	花きグループ	40	主催
H24.11.12	趣味の園芸講座(女将の会)	鬼山ホテル	10	主催
H24.11.29	チェリービー栽培等研修会	花きグループ	10	主催
H24.12.13	スイートピー生産者研修会	JA豊後大野	45	共催(生産者協議会)
H24.12.17	ハボタン等研修会	花きグループ	18	主催
H24.12.18	趣味の園芸講座	花きグループ	30	主催
H25.2.14	アルストロメリア研修会	花きグループ	20	主催
H25.2.26	趣味の園芸講座	花きグループ	46	主催
H25.3.21	チェリービー栽培等研修会	花きグループ	10	主催

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ

対象者	所属	研修内容	期間
学生1名	別府大学	キク、トルコギキョウ等県内の主要花きの育苗、栽培管理について	平成25年2月18日～3月8日

②短期受入研修及び視察対応

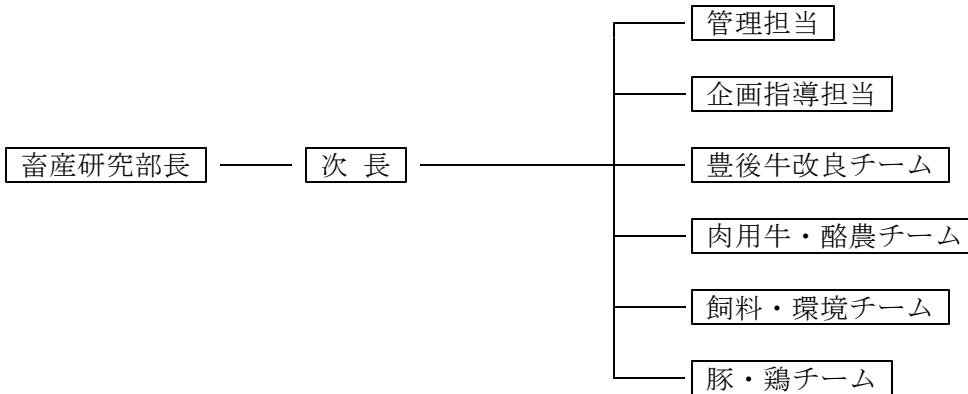
対象者	件数	受入人数
生産者(団体職員含む)	12	187
普及指導員	4	2(延べ8)
海外研修者	5	86
その他	21	395
計	42	670(延べ676)

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
エコ맘効率生産・流通体系の実証	量販業者の利用形態にあった60cm程度の輪ぎく(エコ맘)の年4作生産方式を実証する。	杵築市に11aの現地実証圃を設置し、12月出荷から年4作の実証を開始した。12月出荷では10a当たり49,722本、出荷率94%であった。
鉢物用トルコギキョウ「チェリービー」の栽培技術の確立と現地実証	平成23年5月に品種登録された「チェリービー」の現地普及を図る。	初年度5万鉢生産を目標に、県内若手鉢物生産組織を対象に現地実証圃6カ所設置し、平成25年2月から主要市場に出荷を開始した。

II-5 畜産研究部

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	
次長		1	1					2	
管理担当		3						3	
企画指導担当			4					4	広域普及指導員 2名
豊後牛改良チーム			6	4	4			14	広域普及指導員 1名
肉用牛・酪農チーム			5	7	2			14	
飼料・環境チーム			4	3				7	
豚・鶏チーム			6	2	4			12	
計		4	27	16	10			57	

(3) 業務

- ①肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ②肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③乳用牛の飼養技術
- ④牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給
- ⑥家禽の育種並びに飼養管理技術

1. 平成24年度試験研究課題

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
I 農林水産業を支える技術開発					
①ブランド化のための技術開発					
(豊後牛DNA育種技術の開発法の検討)					
(1) 和牛子牛損耗を低減するための子牛虚弱症候群・骨格異常の原因遺伝子探索		豊後牛改良		H24~26	県単
(良食味・機能成分を含む牛肉生産技術の検討)		企画、改良、肉豚		H24~26	県単
②マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
(「おおいた冠地どり」等鶏の改良及び飼養管理技術)					
(3) 「おおいた冠地どり」の生産性等向上試験		豚・鶏		H23~25	県単
(4) 「おおいた冠地どり」の胸肉割合改良試験		豚・鶏		H24~26	県単
③力強い担い手を育成するための技術開発					
(牛の体内受精卵移植技術の確立)					
(5) ウシ腔内留置型ホルモン製剤に着目した繁殖技術向上に関する研究		肉用牛・酪農	青森県、秋田県、宮城県、神奈川県、静岡県、奈良県、京都府、徳島県	H22~H24	県単
(6) 経膈採卵及び雌選別精液を用いた体外受精による効率的な高泌乳牛生産方法の確立		肉用牛・酪農		H24~26	県単
(豚凍結精液等利用技術の確立)					
(7) 免疫機能に着目したブタ繁殖技術向上に関する研究		豚・鶏	鹿児島県、沖縄県	H22~H24	県単、受託
(省力的な肥育牛管理技術の検討)					
(8) とよのくに一本化体系における「締まり」の改善方法の検討		肉用牛・酪農		H24~26	県単
④地球温暖化・環境対策等の技術開発					
⑤地域資源の活用と省エネルギーの開発技術					
(牛の耕作放棄地放牧技術の確立)					
(9) 耕作放棄地解消後の圃場における周年放牧の確立		飼料・環境	九州農研センター	H22~26	受託
(未利用資源の牛への飼料化技術の確立)					
(10) 大豆煮汁の乳牛用飼料への利用方法の検討		肉用牛・酪農		H24~25	県単
(11) 稲発酵飼料及び焼酎粕濃縮液混合液の利用技術の確立		飼料・環境		H22~24	県単
7. 稲発酵粗飼料・焼酎粕濃縮液混合飼料調整方法の検討		肉用牛・酪農		H22~24	県単
イ. 肉用牛への給与技術の確立		肉用牛・酪農		H22~24	県単
ウ. 乳用牛への給与技術の確立		肉用牛・酪農		H22~24	県単
(未利用資源の豚への飼料化技術の確立)					
(11) 未利用資源を活用したブタ給与技術の開発		豚・鶏	ふんご有機肥料(株)、(株)環境整備産業	H22~24	県単
(永年草地における生産性と強韌草対策)					
(13) 新しい簡易更新技術と長期間牧草維持可能な収穫作業体系の確立		飼料・環境		H24~H26	県単
(新型作業機の導入適正)					
(14) ダイレクト収穫による二毛作、二期作体系の確立		飼料・環境		H24~H26	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立					
(優秀種雄牛の造成)					
(1) 種雄牛検定		豊後牛改良		長期	県単
7. 直接法		豊後牛改良		長期	県単
イ. 現場後代検定法		豊後牛改良		長期	県単
(2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証		豊後牛改良		長期	県単
(牧草・飼料作物の優良品種・系統の選定)					
(3) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験		飼料・環境	(独)九州農研セ、九州各県	S55~長期	県単、受託
7. とうもろこし		飼料・環境	(独)九州農研セ、九州各県	S55~長期	県単、受託
イ. イタリアンライグラス		飼料・環境	(独)九州農研セ、九州各県	S55~長期	県単、受託
ウ. ソルガム		飼料・環境	(独)九州農研セ、九州各県	S55~長期	県単、受託
(系統造成豚の長期維持と改良及び優良種子豚等の供給)					
(4) 原種豚の改良維持及び増殖		豚・鶏		H19~長期	県単
7. ランドレース種の系統維持・増殖		豚・鶏		H19~長期	県単
イ. 大ヨークシャ種の改良・増殖		豚・鶏		H21~長期	県単
ウ. デュロック種の能力維持		豚・鶏		H20~22	県単
(「おおいた冠地どり」等原種鶏の改良と優良種苗等の安定供給)					
(5) 原種鶏の系統維持及び増殖		豚・鶏		H元~長期	
7. 「豊のしゃも」原種鶏		豚・鶏		H元~長期	
イ. 「おおいた冠地どり」原種鶏		豚・鶏		H元~長期	
ウ. 「おおいた烏骨鶏」原種鶏		豚・鶏		H元~長期	

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
2012 大分県黒毛和種「種雄牛」監修	H24.4.30	24	1000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
Okazaki T, Akiyoshi T, Kan M, Mori M, Teshima H, Shimada M.	Artificial insemination with seminal plasma improves the reproductive performance of frozen-thawed boar epididymal spermatozoa.	J Androl.	33(5)	990-998
Okazaki T, Shimada M.	strategies of boar sperm cryopreservation: development of novel freezing and thawing methods with a focus on the roles of seminal plasma.	Anim Sci J.	83(9)	623-629
Shimada M, Mihara T, Kawashima I, Okazaki T.	Anti-bacterial factors secreted from cumulus cells of ovulated COCs enhance sperm capacitation during in vitro fertilization.	Am J Reprod Immunol.	69(2)	▼ 168-179
Tetsuï OKAZAKI, Teiichi AKIYOSHI, Manabu MORI, Hisanori TESHIMA and Masayuki SHIMADA	Development of chemical defined thawing solution focused on the role of seminal plasma, and its application to artificial insemination of cryopreserved boar semen	J Reprod Engineer	15	7-12
知念司・生駒エレナ・當眞嗣平・手島久智・岡崎哲司	高浸透圧凍結希釈液を用いたパークシャーおよびアグー精子の凍結保存におけるglycerol濃度の影響	日本養豚学会誌	49(3)	128-132
岡崎哲司	凍結精液の多彩な利用方法	ALL ABOUT SWINE	41	30-36
Okazaki T	Development of novel cryopreservation method for boar sperm and thawing solution: cortisol-containing thawing solution improves implantation rate	Reproductive Immunology and Biology	27	57
Nishimura S, Watanabe T, Mizoshita K, Tatsuda K, Fujita T, Watanabe N, Sugimoto Y, Takasuga A.	Genome-wide association study identified three major QTL for carcass weight including the PLAG1-CHCHD7 QTN for stature in Japanese Black cattle.	BMC Genet	2012 May 20;	13:40
安達 聡、渡邊竜二、佐藤恭二、倉原貴美、藤田達男	無血清発生培地への成長因子・グルコース・トランスフェリン・セレンの添加がウシ胚の発生率及び品質に及ぼす影響	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集	第75回、平成24年度	P60
Takahiro Nishimaki, Takayuki Ibi, Yoshihiro Tanabe, Yoshiyuki Miyazaki, Naohiko Kobayashi, Tamako Matsuhashi, Takayuki Akiyama, EmiYoshida, Kazumi Imai, Mayu Matsui8, Keiichi Uemura, Naoto watanabe, Tatsuo Fujita, Yosuke Saito, Tomohiko Komatsu, Takahisa Yamada, Hideyuki Mannen, Shinji Sasazaki, Tetsuo Kunieda.	The assessment of genetic diversity within and among the eight populations of the Japanese Black cattle using 52 microsatellite markers.	Animal Science Journal	受理済	印刷中

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.7.2	九州沖縄農業研究会草地畜産研究部会肉用牛研究会	藤田 和男	高オレイン酸牛肉の生産に向けて
H24.7.26	第22回日本SPF豚研究会	岡崎 哲司	凍結精液の開発経緯とその多彩な利用方法
H24.9.12	第75回九州農業研究発表会	安達 聡	無血清発生培地への生長因子・グルコース・トランスフェリン・セレンの添加がウシ胚の発生率及び品質に及ぼす影響
H24.9.12		宮木 隆裕	飼料用米脱皮・破砕機の性能調査および処理方法の違いがルーメン内乾物消失率に及ぼす影響
H24.9.13		秋好 禎一	破砕粒度の異なる飼料用米給与が夏季肥育豚の肉の理化学性状に及ぼす影響
H24.9.28	日本胚移植研究会富山大会	倉原 貴美	PRIDを用いた過剰排卵処理－同期化処理と簡易採卵技術の実践：黒毛和種繁殖牛(育種素材牛)を用いた胚移植による育種改良
H24.10.10	第97回日本養豚学会	秋好 禎一	飼料用米の配合割合が暑熱環境下の肥育後期豚の飼養成績に及ぼす影響
H24.11.21	第61回大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	秋好 禎一	飼料用米の肥育豚への給与技術開発
		安達 聡	無血清発生培地で生産したウシ体外胚の品質および耐凍性の検討
		宮木 隆裕	飼料用米脱皮・破砕機の性能調査および処理方法の違いがルーメン内乾物消失率に及ぼす影響
		白根 英治	市場研修会を核とした肉用牛産地の活性化
H24.12.1	第28回日本生殖免疫学会	岡崎 哲司	豚精液特性を考慮した精子凍結法と着床率を向上させる融解液の開発
H25.3.29	家禽学会2013年度春季大会	志村 英明	「おおい冠地どり」へのカボス搾汁残渣給与について

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	H24.11.21	大分県庁正庁ホール	4	100
研究紹介・新品種等の試食会	H25.2.15	大分文化会館	1	100

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア 畜産後継者養成研修

開催月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月11日～3月14日	畜産後継者	畜産後継者養成研修	部内	1人×335日	

イ 畜産技術者研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	地域	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.4.25	畜産技術	超音波研修	宇佐市	12	
H25.4.27	畜産技術	肉用牛改良研修会(I)	部内	85	
H24.5.14	畜産技術	採血研修	部内	13	家畜衛生飼料室
H24.5.15	畜産技術	鶏研修	部内	15	
H24.5.17	畜産技術	豚凍結精液セミナー	大分市内	15	
H25.7.30	畜産技術	肉用牛改良研修会	部内	40	
H24.7.31	畜産技術	飼料作物の品種と栽培技術	部内	15	
H24.11.29	畜産技術	超音波技術研修会	部内	6	
H24.12.21	畜産技術	全共枝肉研究会	豊後大野市	58	
H24.12.27	畜産技術	酪農技術研修	大分市	15	
H25.2.14	畜産技術	肉用牛改良研修会	別府市	162	大分県肉用牛改良組合連合会
H25.3.5	畜産技術	受精卵移植技術研修会	部内	7	
H25.3.18	畜産技術	肉・酪畜産技術者研修	大分市	20	

ウ 受託研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.5.24	受託研修	新任獣医師繁殖研修	部内	3	家畜衛生飼料室
H24.6.28	受託研修	受精卵移植講習会	部内	5	畜産振興課
H24.7.31	受託研修	家畜審査競技会	部内	20	玖珠農業高等学校
H24.8.20	受託研修	新任普及指導員研修(改良)	部内	2	研究普及課
H24.8.27	受託研修	新任普及指導員研修(草地飼料)	部内	2	研究普及課
H24.9.3	受託研修	新任普及指導員研修(肉用牛)	部内	2	研究普及課
H24.9.10	受託研修	新任普及指導員研修(酪農)	部内	2	研究普及課
H24.9.18	受託研修	新任普及指導員研修(豚・鶏)	部内	2	研究普及課
H24.11.5	受託研修	家畜人工授精講習会	部内	11	家畜衛生飼料室

エ 視察研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.4.13	視察	新種雄牛舎の案内会	部内	83	
H24.4.23	視察・研修	山香町肥育牛研究部会視察	部内	15	
H24.5.11	視察・研修	財政課現地視察	部内	3	
H24.5.25	視察・研修	九大農業工学視察	部内	25	九州大学
H24.5.28	視察・研修	三重和牛振興会総会・研修会	部内	35	
H24.6.15	視察・研修	九大(農政経済)視察	部内	35	九州大学
H24.7.2	視察・研修	直入いつわ会研修会	部内	15	
H24.9.20	視察・研修	九州大学農学部(畜産系)視察	部内	35	九州大学
H24.10.12	視察・研修	九州大学農学部	部内	34	九州大学
H24.11.14	視察・研修	温見十頭会視察	部内	15	
H24.11.21	視察・研修	熊本県畜産農協阿蘇支所視察(衛藤氏)	部内	15	
H24.11.27	視察・研修	東部肉用牛研修	部内	16	
H24.12.4	視察・研修	山香農高PTA役員視察研修	部内	10	
H24.12.13	視察・研修	久住はなぐり会視察	部内	15	
H24.12.13	視察・研修	動衛研視察	部内	5	
H24.12.14	視察・研修	久住和牛女性部視察	部内	40	
H25.12.19	視察・研修	農政局職員視察	部内	1	
H24.12.20	視察・研修	北部局新規参入希望者視察研修	部内	5	
H25.1.9	視察・研修	豊後大野市市議視察	部内	8	
H25.1.22	視察・研修	竹田市久住地区畜産振興会	部内	35	
H25.1.23	視察・研修	農畜産産業振興機構来場(刈込酸)	部内	5	
H25.2.6	視察・研修	杵築改良組合種雄牛視察(15名)	部内	15	
H25.2.20	視察・研修	MLA豪州食肉家畜生産者事業団来部	部内	5	
H25.2.22	視察・研修	直入町婦人部視察研修	部内	9	
H25.2.22	視察・研修	豊後大野市AI協会研修会	部内	17	
H25.3.8	視察・研修	山香肉用牛育種改良組合視察	部内	15	
H25.3.14	視察・研修	日田市肉用牛経営者倶楽部視察研修	部内	15	

オ ふれあい研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H25.5.30	ふれあい	久住中学職場体験研修	部内	2	久住中学校

カ 講師派遣

月 日	区分	講習会・研修会等の名称	地域	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.4.16	講師派遣	県酪竹田支部総会	県内	25	
H24.4.17	講師派遣	大分みどり和牛振興会久住支部・久住町育種改良組合通常総会	竹田市	100	
H24.4.19	講師派遣	広域牧場総会	竹田市	50	
H24.4.26	講師派遣	豊肥育種組合直入支部総会	竹田市	15	
H24.4.26	講師派遣	WCS用イネ栽培・給与等研修会	南部	15	
H24.5.8	講師派遣	直入町畜産女性部連合会総会	竹田市	30	
H24.5.9	講師派遣	久住町和牛女性部総会	竹田市	35	
H24.5.14	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	玖珠九重	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.15	講師派遣	由布市肉用牛育種改良組合総会	由布市	30	
H24.5.15	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	日出杵築	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.16	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	由布宇佐	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.17	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	豊肥	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.18	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	宇佐中津	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.22	講師派遣	中央地区予選会	大分市	50	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.23	講師派遣	県南地区予選会	佐伯市	50	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.24	講師派遣	県西地区予選会	玖珠町	50	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.25	講師派遣	県北地区予選会	宇佐市	50	第10回全共大分県推進協議会
H24.5.29	講師派遣	全共肉牛区選抜会	県内	10	第10回全共大分県推進協議会
H24.6.1	講師派遣	豊肥和牛育種組合総会	豊肥	50	
H24.6.8	講師派遣	竹田市和牛振興会通常総会	竹田市	30	
H24.6.11	講師派遣	九管超音波巡回	県北	20	JA全農大分県本部
H24.6.13	講師派遣	豊後高田市ヒリーフ現地指導	豊後高田	2	
H24.6.14	講師派遣	九管超音波巡回	豊肥	20	JA全農大分県本部
H24.6.18	講師派遣	おおい冠地どり銘柄協議会総会	大分市	10	
H24.6.22	講師派遣	養豚協会総会及び研修会	大分市	30	
H24.6.25	講師派遣	凍結精液指導(沖縄県)	沖縄県	5	沖縄県
H24.6.26	講師派遣	九管超音波巡回	杵築国東	15	JA全農大分県本部
H24.6.27	講師派遣	九管超音波巡回	由布	15	JA全農大分県本部
H24.6.28	講師派遣	九管超音波巡回	宇佐	15	JA全農大分県本部
H24.6.28	講師派遣	竹田市畜産共進会久住地区	竹田市	30	
H24.7.10	講師派遣	県酪日田精液普及推進	日田	15	大分県酪農業協同組合
H24.7.11	講師派遣	県酪宇佐精液普及推進	宇佐	15	大分県酪農業協同組合
H24.7.13	講師派遣	野津・佐伯豊南精液普及推進	県南	15	
H24.7.17	講師派遣	超音波画像診断指導(肥育センター)	豊肥	5	
H24.7.17	講師派遣	大分市和牛改良組合総会・研修会	大分市	10	
H24.7.27	講師派遣	第56回大分県家畜人工授精師協会総会	別府市	35	大分県家畜人工授精師協会
H24.8.3	講師派遣	県酪肉用牛研究会総会	日田市	50	大分県家畜人工授精師協会
H24.8.6	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	玖珠九重	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.7	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	日出杵築	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.8	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	由布宇佐	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.9	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	豊肥	15	第10回全共大分県推進協議会
H25.8.9	講師派遣	安心院町改良組合研修会	安心院	20	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.10	講師派遣	全共肉牛区超音波巡回	宇佐中津	15	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.24	講師派遣	全共最終予選	玖珠町	100	第10回全共大分県推進協議会
H24.8.28	講師派遣	放牧ネット総会研修会	大分市	40	
H24.8.29	講師派遣	第47回東部地域畜産共進会(乳用牛の部)	国東	50	
H24.8.30	講師派遣	超音波巡回(県共選畜)	玖珠九重	15	

カ 講師派遣(つづき)

月 日	区分	講習会・研修会等の名称	地域	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.9.4	講師派遣	第7回豊後大野市畜産共進会	豊後大野市	50	
H24.9.5	講師派遣	玖珠郡畜産品評会	玖珠九重	50	
H24.9.7	講師派遣	第7回竹田市畜産共進会(乳用牛の部)	竹田市	50	
H24.9.13	講師派遣	豊後大野市畜産振興大会	豊後大野市	50	
H24.9.24	講師派遣	肥育センター協議会総会	別府師	20	
H24.9.28	講師派遣	肉用牛リーダー育成研修会	大分市	30	
H24.10.5	講師派遣	西部AI精液推進	玖珠九重	20	
H24.11.13	講師派遣	超音波巡回	宇佐中津	15	
H24.11.21	講師派遣	超音波巡回	竹田国東	15	
H24.11.30	講師派遣	大分県養豚協会研修会	大分市	30	
H24.12.5	講師派遣	大分県養鶏団体連絡協議会研修会	大分市	20	
H24.12.12	講師派遣	玖珠家畜市場意見交換会	玖珠九重	60	
H24.12.18	講師派遣	中津下毛和牛改良組合研修会	中津	44	
H24.12.21	講師派遣	サレージコンクール	大分市	25	
H25.12.21	講師派遣	畜産Net“鼓動”会員スキルアップ研修	大分市	44	
H25.1.11	講師派遣	市場研修会	玖珠	100	
H25.1.12	講師派遣	市場研修会	豊肥	100	
H25.1.23	講師派遣	豊後大野市配合検査	千歳朝地	20	
H25.1.24	講師派遣	西部家畜人工授精師協会研修会	西部	30	
H25.1.24	講師派遣	豊後大野市配合検査	緒方三重	20	
H25.1.25	講師派遣	朝地町温見地域畜産振興会学習会	朝地	40	
H25.2.27	講師派遣	日出町酪農組合研修会	日出町	20	
H25.2.27	講師派遣	竹田市畜産座談会(竹田地区)	竹田市	50	
H25.2.28	講師派遣	竹田市畜産座談会(直入地区)	竹田市	50	
H25.3.1	講師派遣	竹田市畜産座談会(久住地区)	竹田市	50	
H25.3.11	講師派遣	市場研修会	玖珠市場	100	
H25.3.12	講師派遣	市場研修会	豊肥市場	100	
H25.3.18	講師派遣	竹田市畜産座談会(荻地区)	竹田市	50	

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

氏名	所属	研修内容	期間
生産者1名	竹田市	後継者養成研修	H24.4.11~H24.7.19
生産者1名	鹿児島市	後継者養成研修	H24.4.11~H25.3.5
生産者1名	大分市	後継者養成研修	H24.4.11~H25.3.14

② 短期研修及び視察対応

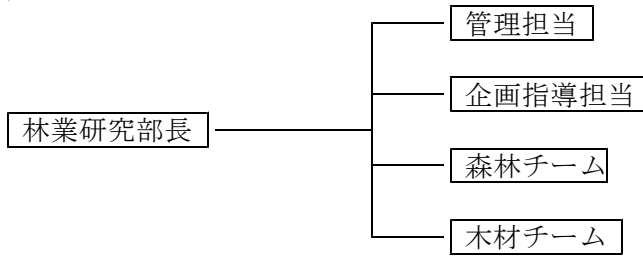
対象者	件数	受入人数
普及指導員	1	10
新任獣医師	1	3
学生	5	131
海外研修者	0	0
その他	0	0
計	7	144

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「超音波画像診断装置」を用いた生体肉質画像診断	超音波画像診断を用いて生体肥育牛の肉質を診断し、一般出荷の飼養管理及び枝肉共励会の選抜に活用し、豊後牛のブランド確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・第36回九州管内系統和牛枝肉共励会で4・5率診断76.5%達成。 ・第10回全国和牛能力共進会7区で優等4席獲得。 ・超音波推定では、±1の範囲で94%の精度を達成。
酪農家における経膣採卵－体外受精による後継牛等生産性に向けた技術支援	現地農家での経膣採卵(OPU)と性選別精液を用いた体外受精(IVF)による体外受精卵移植技術の普及	膣内留置型ホルモン製剤(PRID)挿入後4日目にFSH(20AU/10ml)を皮下1回投与し、その2日後にOPUを行うことが、より簡便で効率的な体外胚生産の手法となる可能性が示唆された。
耕作放棄地解消のためのレンタカウ等の現地支援	耕作放棄地の解消及び「おおいた型放牧」の普及を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地解消のための2カ所にそれぞれ2頭をレンタカウ。
豚凍結精液技術の現地実証	大分県で開発した豚凍結精液の技術普及	<ul style="list-style-type: none"> ・凍結精液譲渡本数 1,101セット ・受託製造実証本数727セット ・豚人工授精及び凍結精液セミナー開催 ・凍結精液実証農場6農場 ・受託製造利用農場3農場

II-6 林業研究部

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部 長			1					1	
管 理 担 当		2		1				3	
企 画 指 導 担 当			3					3	広域普及指導員 1名
森 林 チ ー ム			4			2		6	
木 材 チ ー ム			7					7	デザイン担当 1名(兼務)
計		2	15	1		2		20	

(3) 業 務

- ① 育種・育林技術の開発に関する試験研究
- ② 環境を守る森林整備に関する試験研究
- ③ 県産材の需要拡大に関する試験研究

1. 平成24年試験研究課題

試験研究課題	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
「The・おおい」ブランドを支える技術の開発と支援				
ア 消費者の心をつかむ商品(もの)づくり				
IV 優良品種・系統の選定				
1 優良苗木の育成				
早生有用広葉樹等を活用した短伐期林業に関する研究	森林チーム		平24~26	県単
成長速度に優れた種苗の生長パターンとその環境等の影響の解析	森林チーム	森総研、九州大学ほか	平24~26	受託(農水省)
イ 時代に対応する新たな農林水産業のしくみづくり				
VII 森林の育成と需要に応じた木材加工技術の確立				
2 スギの効率的な乾燥法の開発				
県産スギ材の簡易乾燥システムの開発	木材チーム		平24~26	県単
3 県産スギ材の新たな活用法の検討				
張りぐるみ椅子(ソファ)への県産材利用に関する研究	木材チーム		平24~25	県単
「木材利用促進法」に対応した県産スギ大断面構造材に関する研究	木材チーム	大分大学	平24~26	県単
ウ 地域資源の活用と産業界との連携によるニュービジネスの創造				
X 新たな産業・地域連携による地域資源の活用支援				
4 資源の活用技術の検討				
県産クスギ材の床材利用技術の開発	木材チーム		平24~25	県単
エ 県民が多面的機能を共有できる農山漁村の整備				
XII 豊かな資源を維持増進する技術の開発				
5 森林病虫獣害対策				
1)健全な森林の維持・確保のためのスギ集団葉枯れ症の実態解明	森林チーム		平22~24	県単
2)クスギ萌芽更新におけるシカ被害防除技術に関する研究	森林チーム		平23~25	県単
6 再造林放棄地の機能回復手法の確立				
1)再造林放棄地の解消に向けた省力的な造林技術に関する研究	森林チーム		平21~25	県単
(1)省力的な造林技術に関する研究				
(2)省力的な下刈技術に関する研究				
研究分野における基礎的データ収集と優良種苗等供給体制の確立				
1)スギ花粉発生源調査事業	森林チーム		平22	受託(全林協)
県産製材品の強度性能に関する研究	木材チーム		平24~26	県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成23年度林業試験場年報(第54号)	H24.5.31	78	300
土木用木材の使い方Ver.1	H24.6.1	56	300
林試だより(第74号)	H24.9.28	8	1,300
大分県におけるスギ集団葉枯症の被害実態と被害対策	H25.2.4	4	1,000

(2) 学会誌、専門誌等への投稿 なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.8.25	日本木材学会九州支部大会	豆田 俊治	スギ平角材における人工乾燥後の適切な養生期間について ー重量および含水率測定結果からー
H24.10.27	九州森林学会	佐藤 嘉彦ほか	大分県におけるスギ集団葉枯症の発症木と健全木の根系比較
H24.10.27	九州森林学会	北岡 和彦	クスギ萌芽更新におけるシカ被害防除技術に関する研究
H25.3.27	日本森林学会大会	佐藤 嘉彦ほか	植栽密度試験地に植栽されたスギ在来品種の成長パラメータの比較 ー成長パラメータに対するクローンと植栽密度の影響ー
H25.3.27	日本森林学会大会	北岡 和彦ほか	Platypus koryoensisによるコナラの枯損被害

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成24年度 農林水産研究指導センター林業研究部研究発表会	H25.2.22	林業研究部	口頭発表:5課題 展示発表:3課題	62
平成24年度 農林水産研究指導センター 研究紹介発表会	H25.2.15	大分市 コンパルホール	口頭発表:1課題	130
平成24年度 大分高等教育協議会 合同研究成果発表会	H24.10.12	大分大学	口頭発表:2課題	130

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.5.18	林業職員技術研修	大分県庁	20	大分県
H24.5.31	林業全般基礎研修	大分県庁	20	大分県
H24.6.15	日田高等学校スーパーサイエンス	日田高等学校	35	日田高等学校
H24.7.2	林業普及技術等習得研修	大分県庁	1	大分県
H24.7.20	日田高等学校スーパーサイエンス	林業研究部	35	林業研究部
H24.7.31	森林教室	日田市三花公民館	32	日田市三花公民館
H24.8.7	木繋会研修会	林業研修所	6	(公財)森林ネットおおい
H24.8.7	木繋会研修会	大分市	7	木繋会
H24.8.9~23	インターシップ研修	林業研究部	5	林業研究部
H24.8.9~9.13	試験研究機関における実践研修	林業研究部	30	林業研究部
H24.8.28	木の授業	北部中学校	70	日田青年林業会議所

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.8.29	木繋会研修会	大分市	7	木繋会
H24.9.12	木繋会研修会	大分市	7	木繋会
H24.9.25	木繋会研修会	大分市	7	木繋会
H24.10.16	林業種苗生産事業講習会	大分県庁	4	大分県樹苗農業協同組合
H24.10.17	企業技術研修会	林業研究部	32	家具・工芸業者等
H24.10.23~25	日田林工高校課外授業(3回)	日田林工高校	120	日田林工高校
H24.11.4	市民参加の森づくり大会	日田市市有林	50	日田市
H24.11.16~12.7	農業大学校講義(3回)	農業大学校	48	農業大学校
H24.11.28	フォレストワーカー集合研修	林業研究部	14	(公財)森林ネットおおいた
H24.11.29	抵抗性クロマツ接木研修会	林業研究部	25	大分県樹苗農業協同組合
H25.1.23	日田林工高校課外授業	日田林工高校	40	日田林工高校
H25.1.25	木の授業	石井小学校	46	日田青年林業会議所
H25.3.19	バイオマス発電の現状と課題	APU	15	産学官グループ

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	4	5
団体等職員	11	154
普及指導員	1	24
学生	7	391
その他	10	135
計	33	709

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
コンテナ苗の普及・推進	低コスト造林を推進するため、DNA分析に基づくスギ奨励品種コンテナ苗の導入を推進する。	県西部・南部において、樹苗生産者、森林組合及び市町村を対象としたコンテナ苗導入の検討会・研修会を14回実施した。
大分方式による平角乾燥材生産技術の開発	県産スギ横架材の生産拡大を図るため、高周波乾燥技術の現地移転を促進する。	高周波乾燥機を所有している3社に乾燥技術の移転を図り、当該3社が大分方式平角乾燥材生産工場に認定された。

II-7 きのごグループ

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
企画指導担当			3					3	広域普及指導員 2名
きのご担当			5			1		6	
計			9			1		10	

(3) 業務

- ① シイタケを始めとするきのご類の栽培技術の改善・開発
- ② 栽培きのご類の育種技術による品種の改良・開発
- ③ 温暖化に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発
- ④ クヌギチップを利用した菌床生シイタケ培地の研究
- ⑤ 病害虫等の防除技術の研究・普及
- ⑥ きのご類の分類・同定
- ⑦ 有用きのご類の遺伝子収集・保存による育種素材の確保
- ⑧ 研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑨ 新規参入者の研修・技術指導
- ⑩ 栽培技術情報の収集・管理と情報発信

1. 平成24年度試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
「The・おおいた」ブランドを支える技術の開発と支援				
ア 消費者の心をつかむ商品(もの)づくり				
III バイオ技術等を駆使したオリジナル品種と育種素材の開発				
1 有用きのご類の品種改良				
1) 原木乾シイタケ優良品種の開発	きのごチーム		平21~25	県単
2) 原木生シイタケ優良品種の開発	きのごチーム		平21~25	県単
3) ナメコの優良品種の開発	きのごチーム		平21~25	県単
V 低コスト、高品質化生産技術の確立				
2 シイタケの原木栽培技術の確立				
1) 暖冬に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発	きのごチーム		平20~24	県単
2) 暖冬下における乾シイタケ品種の栽培特性に関する研究	きのごチーム		平20~24	県単
3) 原木生シイタケ栽培における冬期の生産量向上技術に関する研究	きのごチーム		平22~25	県単
4) 乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発 - 子実体発生に及ぼす低温刺激の効果 -	きのごチーム		平23~25	県単
3 シイタケの菌床栽培技術の確立				
1) クヌギチップを利用した菌床シイタケ発生操作技術の確立	きのごチーム	九州大学 他	平24~26	県単
4 その他有用きのご類の生産技術の確立				
1) キクラゲ類の原木栽培技術の開発	きのごチーム		平21~24	県単
エ 県民が多面的機能を共有できる農山漁村の整備				
XI 環境負荷軽減技術の確立				
5 きのご類の病虫害防除技術の確立				
1) きのご類栽培における害虫類の生態解明と防除技術の開発 - シイタケオオヒロゾガ類の防除法の確立 -	きのごチーム		平24~25	県単
研究分野における基礎的データ収集と優良種苗等供給体制の確立				
1 育種素材の収集保存				
1) 有用きのご類の遺伝子収集及び保存	きのごチーム		平元~	県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
林業研究部きのこグループ業務年報(第23号)	H24年12月	66	500
情報誌「くらんぷ」第42号	H25年1月	7	2,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
末吉昌宏・村上康明	菌床栽培エノキタケの害虫イシハラナミキノコバエ <i>Mycetophila ishiharai</i> Sasakawa (双翅目キノコバエ科)	森林総合研究所研究報告	11	65-69
有馬忍・篠原弘亮・根岸寛光	シイタケ腐敗病菌 <i>Ewingella americana</i> の分離用選択培地	日本きのこ学会誌	Vol.14(4)	181-186

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.10.27	第68回九州森林学会	村上康明	原木生シイタケ栽培における冬期の発生促進
H24.10.27	第68回九州森林学会	宮本亮平, 宮崎和弘	シイタケ菌株の温度特性評価について
H24.10.27	第68回九州森林学会	宮崎和弘, 中武千秋, 甲斐 充, 有森由美	九州地域で発生しているヒポクレア属菌の被害調査と特性評価について

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成24年度きのこグループ研究発表会	H25.2.6	きのこグループ	3	114

3. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.8.29	第1回特用林産研修会	きのこグループ	15	
H25.2.26	第2回特用林産研修会	きのこグループ	5	

イ. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.7.3	林業全般基礎研修	県庁	20	研究普及課

ウ. 大分しいたけ源兵衛塾（第6期）

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.7.19	大分しいたけ源兵衛塾第1回研修会	きのこグループ	66	
H24.8.22	大分しいたけ源兵衛塾第2回研修会	きのこグループ	38	
H24.9.27	大分しいたけ源兵衛塾第3回研修会	きのこグループ	37	
H24.10.31	大分しいたけ源兵衛塾第4回研修会	きのこグループ	18	
H25.2.6	大分しいたけ源兵衛塾第5回研修会	きのこグループ	48	

エ. 新規参入者研修（栽培体験コース）

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.9.11	東部地区地区新規参入者ステップアップ研修会	国東市	29	
H24.9.9	第1回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	70	
H24.10.28	第2回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	46	
H25.2.17	第3回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	38	
H25.3.17	第4回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	36	
H24.10.18	第1回北部地区新規参入者ステップアップ研修会	宇佐市	21	
H25.2.19	第2回北部地区新規参入者ステップアップ研修会	宇佐市	27	
H24.6.21	平成24年度第1回しいたけセミナー	きのこグループ	15	豊後大野市と共催
H24.6.28	平成24年度第2回しいたけセミナー	きのこグループ	14	〃
H24.7.19	平成24年度第3回しいたけセミナー	きのこグループ	15	〃
H24.7.26	平成24年度第4回しいたけセミナー	きのこグループ	15	〃
H24.8.23	平成24年度第5回しいたけセミナー	きのこグループ	15	〃
H24.8.30	平成24年度第6回しいたけセミナー	きのこグループ	15	〃

オ. きのこと栽培研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.5.18	豊後大野市椎茸振興協議会緒方支部研修会	豊後大野市	23	
H24.5.22	生椎茸生産流通懇談会	玖珠町	22	
H24.8.17	第1回しいたけ源基塾研修会	きのこグループ	22	
H24.12.14	第2回しいたけ源基塾研修会	きのこグループ・竹田市	35	
H24.9.7	中津市椎茸振興協議会研修会	中津市	31	
H24.9.13	秋子づくりと安全伐採研修会	きのこグループ	150	
H24.9.20	しいたけの安定生産と安全伐採研修会	きのこグループ他	130	
H24.11.2	中津市原木生椎茸研究会研修会	中津市	12	
H24.11.27	省エネ乾燥現地研修(中部)	大分市	5	
H24.11.29	省エネ乾燥現地研修(東部)	安岐町	6	
H24.11.30	省エネ乾燥現地研修(南部)	本匠町	4	
H24.12.3	省エネ乾燥現地研修(豊肥)	朝地町	5	
H24.12.27	省エネ乾燥現地研修(北部)	耶馬溪町	5	
H25.1.10	省エネ乾燥現地研修(豊肥)	竹田市	4	
H25.1.24	省エネ乾燥現地研修(西部)	日田市	4	
H25.1.31	省エネ乾燥現地研修(豊肥)	竹田市	4	
H24.12.6	東部夫婦塾研修会	佐伯市	13	
H25.2.28	東部ほだ場コンクール	国東市	11	
H25.3.6	省エネ乾燥プロジェクト研修	耶馬溪町	7	

カ. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.8.17	農業大学校研修生キクラゲ産地視察研修	竹田市	8	
H24.11.14	食の伝道師研修会	きのこグループ	14	
H24.10.3	農業大学校シイタケ栽培講義	農業大学校	11	
H24.10.10	農業大学校シイタケ栽培講義	農業大学校	11	
H25.1.8	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	14	
H25.1.15	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	13	
H25.1.22	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	10	
H25.1.29	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	12	
H25.2.19	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	5	
H25.2.28	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	9	
H25.3.5	農業大学校シイタケ栽培研修	きのこグループ	8	
H25.1.25	高大連携「地域と農業」	三重総合高校	21	
H25.2.8	大分少年院椎茸栽培研修会	豊後大野市	23	
H25.2.25	マーケティング研修	別府市	32	農林水産研究指導センター本部主催
H25.2.27	椎茸生産体験(駒うち・収穫)研修	菅尾小	9	

キ. 品評会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.4.20	白津地区乾椎茸品評会審査会	津久見市	31	
H24.4.23	中津市乾椎茸品評会審査会	中津市	17	
H24.4.23	豊後大野市朝地町乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	25	
H24.4.24	第6回東部地区乾椎茸品評会審査会	国東市	17	
H24.4.24	豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市	7	
H24.4.25	日本一のナバ山師になろう会選別会	豊後大野市	28	
H23.4.26	第1回豊後大野市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市	10	
H23.4.27	竹田市乾椎茸品評会審査会	竹田市	24	
H24.5.18	第55回大分県乾椎茸品評会(箱物)審査会	椎茸農協本部	24	
H24.5.24	第55回大分県乾椎茸品評会(袋物)審査会	椎茸農協本部	38	
H24.5.25	第55回大分県乾椎茸品評会(袋物)審査会	椎茸農協本部	35	
H24.11.20	第24回大分県生しいたけ品評会審査会	大分市	20	

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

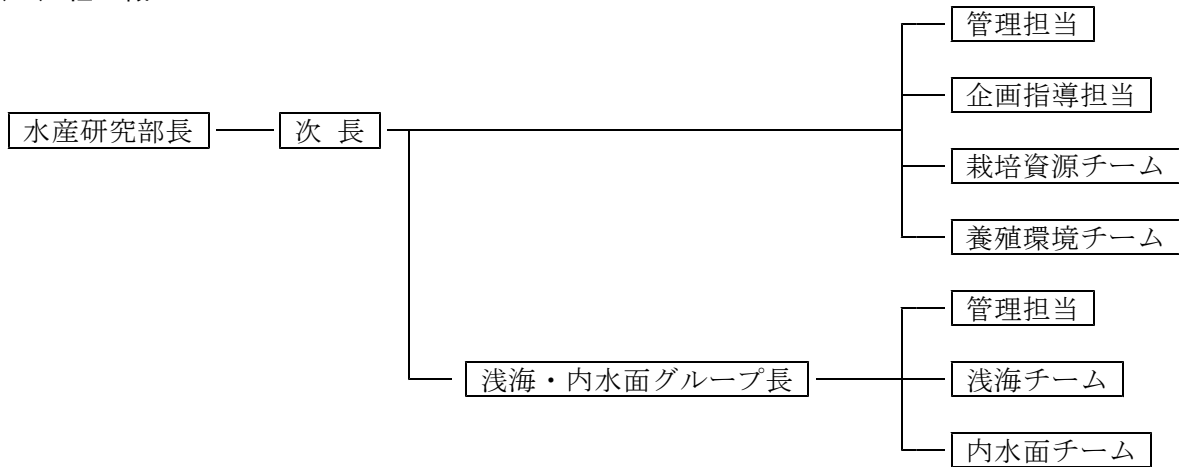
対象者	件数	受入人数
生産者	34	844
団体等職員	0	0
普及指導員	2	20
学生	9	101
海外研修者	1	21
その他	49	64
計	95	1,050

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
乾シイタケ乾燥技術の効率化に関する研究	乾シイタケ生産者が所有する乾燥機の乾燥スケジュールの見直し・改善による効率的な乾燥技術の普及による乾燥コストの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・既存乾燥機における省エネ乾燥スケジュールの現場実証により燃料の削減効果については確認できたものの、具体的な削減量等について今後実証を継続する必要がある。 ・広域普及及び地域普及指導との連携により生産者の取り組みについて指導を強化する。

II-8 水産研究部

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
水産研究部	部長		1					1	海事職員 6名
	次長	1						1	
	管理担当	4	6				1	11	
	企画指導担当		2					2	
	栽培資源チーム		7					7	
	養殖環境チーム		7					7	
	小計	5	23				1	29	
浅海・内水面グループ	グループ長		1					1	
	管理担当	1					1	2	
	浅海チーム		8	1				9	
	内水面チーム		3					3	
	小計	1	12	1			1	15	
合計	6	35	1			2	44		

(3) 業務

- ① 漁業の調査研究に関すること
- ② 漁業の生産及び技術指導に関すること
- ③ 水産動植物の増養殖に関すること
- ④ 漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤ 水産動物の防疫等魚病指導に関すること
- ⑥ 水産物の加工等水産物加工指導に関すること
- ⑦ その他水産業の改良発達に関すること

1. 平成24年度試験研究課題 (1/4)

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 ブランド化のための技術開発				
1) 資源生態及び資源評価ならびに資源回復に関する研究 (水産研究部 豊後水道)				
(1) 資源生態及び評価に関する研究	栽培資源チーム	(独)水産総合研究センター、関係県	H22~24	委託
(2) 資源回復に関する研究	栽培資源チーム	(独)水産総合研究センター	H21~25	県単 一部国庫
1) 資源生態及び資源評価ならびに資源回復に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
(1) 資源生態及び評価に関する研究	浅海チーム	(独)水産総合研究センター	H22~24	委託
(2) 資源回復に関する研究	浅海チーム	(独)水産総合研究センター	H14~H25	県単
2) 栽培漁業の推進に関する研究 (水産研究部 豊後水道)				
(1) 放流後のモニタリング	栽培資源チーム		H21~25	県単
(2) 放流効果の解明と放流手法の改善	栽培資源チーム		H21~25	県単
(3) 放流技術の開発	栽培資源チーム		H21~25	県単
(4) 新規栽培魚種としての適正判断	栽培資源チーム		H21~25	県単
2) 栽培漁業の推進に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
(1) 放流後のモニタリング	浅海チーム		H23~25	県単 委託
(2) 放流効果の解明と放流手法の改善	浅海チーム		H23~25	県単 委託
(3) 放流技術の開発	浅海チーム		H23~25	県単 委託
(4) 新規栽培魚種としての適正判断	浅海チーム		H23~25	県単 委託
3) 新規養殖及び栽培対象魚種導入のための種苗生産に関する技術開発 (水産研究部)				
(1) 新規養殖魚種(カワハギ)の種苗生産技術開発	栽培資源チーム		H21~H24	県単
(2) 人工種苗の有用性確認のための養殖実証試験	栽培資源チーム	養殖環境チーム	H21~H24	県単
(3) 漁業公社への技術移転	栽培資源チーム	漁業公社	H21~H24	県単
4) 養殖技術の開発・普及				
(1) 高品質なブリの生産技術開発	養殖環境チーム		H24~H26	県単
(2) 高品質な養殖カワハギの生産技術開発	養殖環境チーム	栽培資源チーム	H24~H26	県単
5) 育種による優良品質の作出				
(1) ヒラメの高水温耐性品種の作出(II)	栽培資源チーム	養殖環境チーム	H24~H26	県単

1. 平成24年度試験研究課題 (2/4)

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目		
6) 放流対象魚介類(ナマコ)の種苗生産の研究					
	(1)	種苗量産技術の開発	浅海チーム		H23~25 県単
	(2)	中間育成技術開発	浅海チーム		H23~25 県単
	(3)	放流技術開発と効果検証	浅海チーム		H23~25 県単
	(4)	カイアシ類防除方法の検討	浅海チーム		H23~25 県単
7) イワガキ養殖・種苗生産に関する技術指導					
	(1)	イワガキ人工種苗生産の技術移転	浅海チーム	振興局	H23~H25 県単
8) アサリ大型種苗量産技術開発研究					
	(1)	飼育方法、餌料の検討	浅海チーム		H16~H25 県単
	(2)	種苗生産の経費削減	浅海チーム		H16~H25 県単
	(3)	大型種苗生産の量産技術開発	浅海チーム		H16~H25 県単
9) 有用藻類の養殖技術開発					
	(1)	養殖ヒジキの品質向上	浅海チーム		H24~H26 県単
	(2)	ヒジキの養殖用種苗供給技術の確立	浅海チーム		H24~H26 県単
	(3)	ノリの病害対策と情報提供	浅海チーム		長期 県単
10) ヒジキ資源管理手法の開発					
	(1)	生態調査	浅海チーム		H23~H25 県単
	(2)	増殖試験	浅海チーム		H23~H25 県単
	(3)	漁獲実態調査	浅海チーム		H23~H25 県単
11) 種苗生産に関する開発研究					
	(1)	アユ親魚の確保・系統保存	内水面チーム	漁業公社	H22~H24 県単
	(2)	天然遡上アユを親魚とした種苗量産技術開発	内水面チーム	漁業公社	H22~H24 県単
12) 屋内高密度ドジョウ養殖技術の高度化					
	(1)	餌飼料コスト削減	内水面チーム		H24~H26 県単
	(2)	雌の選択的生産技術の開発	内水面チーム		H24~H26 県単
	(3)	形態異常発生率の低減	内水面チーム		H24~H26 県単
13) アユ等の内水面重要資源の持続的利用のための研究					
	(1)	アユ遡上資源調査、産卵場・流下仔魚調査	内水面チーム		H22~H24 県単
	(2)	保護水面調査	内水面チーム		H22~H24 県単
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
1) 病害及び防疫対策に関する研究					
	(1)	ウイルス病等の早期発見技術の開発	養殖環境チーム	(独)水産総合研究セン	H12~ 国庫補助
	(2)	感染経路の遮断及び治療方法等の確立のための研究	養殖環境チーム	(独)水産総合研究センター	H12~ 国庫補助
	(3)	魚病診断及び対策指導	養殖環境チーム	(独)水産総合研究センター	H12~ 国庫補助
	(4)	新しいワクチンの開発のための基礎研究	養殖環境チーム	(独)水産総合研究センター 九州大学 東京海洋大学	H23~H25 県単委託
	(5)	ワクチンの適正使用の指導	養殖環境チーム		H12~ 国庫補助
	(6)	ヒラメ食中毒原因寄生虫対策	養殖環境チーム	(独)水産総合研究センター 東京大学	H23~H25 委託
	(7)	内水面の疾病対策及び治療技術開発	内水面チーム	養殖環境チーム	H12~ 国庫補助

1. 平成24年度試験研究課題 (3/4)

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
2) 養魚飼料、餌料の品質評価及び改良に関する研究				
(1) 健全な養殖ブリ生産のための病気に強い低魚粉飼料の開発	養殖環境 チーム	栽培資源 チーム	H24～H26	県単
3 力強い担い手を育成するための技術開発				
4 地球温暖化・環境対策等の技術開発				
1) 漁海況予報に関する研究 (水産研究部 豊後水道)				
(1) 漁海況データの収集と予報資料の発信	栽培資源 チーム	(独)水産総 合研究セン ター	長期	国庫補助
(2) 漁海況予測に関する技術開発	栽培資源 チーム	(独)水産総 合研究セン ター	長期	国庫補助
(3) 他機関との連携による漁況予測	栽培資源 チーム	(独)水産総 合研究セン ター、関係県	長期	国庫補助
1) 漁海況予報に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
(1) 漁海況予測に関する技術開発	浅海チーム	(独)水産総 合研究セン ター	長期	国庫補助
2) 有害プランクトン調査 (水産研究部 豊後水道)				
(1) 瀬戸内海西部における有害赤潮モニタリング (共同調査)	養殖環境 チーム	(独)水産総 合研究セン ター、浅海	H21～H24	委託
2) 有害プランクトン調査 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
(1) 瀬戸内海西部における有害赤潮モニタリング (共同調査)	浅海チーム	(独)水産総 合研究セン ター、山口 県、福岡県 等、養殖環境 チーム	H21～H24	委託
3) 赤潮に強い養殖生産に向けた支援技術開発				
(1) 赤潮プランクトン増殖抑制技術の開発	養殖環境 チーム	(独)水産総 合研究セン ター、北海道 大学、名古屋 大学	H24～H26	県単
(2) 貝毒毒化軽減技術手法の開発	養殖環境 チーム	佐伯市、振興 局	H24～H26	県単
3) 有害生物の生態等に関する研究				
(1) ミズクラゲ等の分布状況の定量的な把握	栽培資源 チーム		長期	県単
(2) 有害生物の生態に関する基礎的知見の整理と 駆除対策の検討	浅海チーム		H16～H25	県単 委託
4) 養殖漁場の環境保全に関する調査研究・指導				
(1) 漁場環境調査結果による適切な評価方法の開発	養殖環境 チーム		H22～H24	県単
(2) 養殖漁場の底質評価の情報提供	養殖環境 チーム		H22～H24	県単

1. 平成24年度試験研究課題 (4/4)

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
6) 磯焼け対策に関する技術開発				
(1) 藻場のモニタリング調査	栽培資源 チーム		H24～	県単
(2) 磯焼けの回復技術に関する研究	栽培資源 チーム		H24～	県単
(3) 魚礁の効果調査 (イサキ放流効果調査)	栽培資源 チーム		H21～H24	県単 国庫補助
7) フルボ酸鉄による藻場造成力実証試験				
(1) 海水中の溶存態鉄の動態の解明	栽培資源 チーム	養殖環境 チーム	H22～H24	県単
(2) 溶存態鉄と藻場・磯焼けとの関係の解明	栽培資源 チーム		H22～H24	県単
(3) 溶存態鉄濃度と藻類の生長との関連の解明	栽培資源 チーム	養殖環境 チーム	H22～H24	県単
8) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査				
(1) 漁場環境調査	内水面チーム		H22～H24	県単
(2) 水生生物基礎調査	内水面チーム		H22～H24	県単
5 地域資源の活用と省エネルギーの開発技術				
1) 漁海況情報の迅速な提供				
(1) 沿岸シラスの最適漁場探索支援ツールの開発	栽培資源 チーム	独) 水産総合 研究セン ター、宮崎県	H24～H25	県単 委託
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
1) 漁獲統計資料の整備	栽培資源 チーム		長期	県単
2) 疾病診断と養殖衛生管理指導				
(1) 医薬品等の適正使用指導	養殖環境 チーム 内水面チーム		長期	県単
(2) 養殖場の調査・監視	養殖環境 チーム 内水面チーム		長期	県単
3) 種苗生産供給体制の確立と支援				
(1) 漁業公社への技術指導、技術支援	栽培資源 チーム		長期	県単
(2) スポボン種苗の安定供給	内水面チーム		H24	財産収入
4) 漁村グループを対象とした加工指導	養殖環境チー ム	各振興局	長期	県単
5) 漁場環境調査				
(1) 漁場環境調査 (浅海定線調査、漁場環境保全調査等)	養殖環境 チーム	環境保全課	長期	国庫補助
6) 栽培漁業展開のための技術指導				
(1) 放流方法等の指導	栽培資源 チーム 浅海チーム		長期	県単
7) 有害生物の駆除対策指導				
1) ブラックバス等の外来魚駆除技術の普及・指導	内水面チーム		長期	県単
2) カワウによる食害被害軽減技術の普及・指導	内水面チーム		長期	県単

2. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
大分県農林水産研究指導センター研究報告(水産研究部編)第2号	H24.5.25	31	240
おおいたアクア・ニュースNo.35	H24.7.18	16	345
平成23年度大分県農林水産研究指導センター水産研究部事業報告	H24.11.27	362	HPで公開
おおいたアクア・ニュースNo.36	H25.1.21	12	350

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
森京子・福田穰	ヒラメの <i>Streptococcus parauberis</i> 感染症に対する血清型I型およびII型株不活化ワクチンの有効性	魚病研究	47(3)	107-110
南隆之・金丸昌慎・岩田一夫・中西健二・山下亜純・三吉泰之・福田穰・吉田照豊	西日本における養殖カワハギの疾病発生状況	魚病研究	47(3)	111-113
行平真也	漁業調査船豊洋の船内一般公開における見学者アンケート調査	日本航海学会 NAVIGATION	183号	97-101
Eko Siswanto, Joji Ishizaka, Sarat Chandra Tripathy, Kazuyoshi Miyamura	Detection of harmful algal blooms of <i>Karenia mikimotoi</i> using MODIS measurements: A case study of Seto-Inland Sea, Japan	Remote Sensing of Environment	129	185-196
福田 穰	海産魚類養殖における魚病対策の変遷と課題	アクアネット	15(8)	25-28
福田 穰	ヒラメの魚病対策 第1回 大分県におけるヒラメの魚病発生動向	養殖ビジネス	50(3)	16-19

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.5.19	平成24年度日本水産工学会学術講演会	行平真也・徳光俊二・西山雅人・福田博文・渡慶次力	宮崎県延岡沖のシラス漁獲量を指標とした豊後水道におけるシラス短期漁況予測の試み
H24.9.14 ~16	2012年度日本海洋学会秋季大会	松永豊毅・磯辺篤彦・行平真也	豊後水道の急潮発生と黒潮流軸の離接岸に見られる潮汐との同期生について
H24.9.14	平成24年度日本学会秋季大会ミニシンポジウム	福田穰	低魚粉飼料の栄養評価と飼育魚の健康評価 Ⅲ. 低魚粉飼育魚の抗病性 2. プリの抗病性
H24.9.16	平成24年度日本魚病学会秋季大会	高野倫一・中村洋路・松山知正・坂井貴光・中易千早・近藤秀裕・廣野郁生・木本圭輔・福田穰	ブリ細菌性溶血性黄疸原因菌の分類学的位置
H24.9.16	平成24年度日本魚病学会秋季大会	横山 博・木本圭輔・福田穰	養殖ヒラメの脳クドア症
H24.9.26	平成24年度中央ブロック資源海洋研究会	徳光俊二・橋田大輔・堀田敏弘	豊後水道周辺海域におけるタチウオの資源解析

(3) 研究会、学会等での発表(つづき)

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H24.10.29 ～31	第15回赤潮国際学会	<u>Kazuyoshi Miyamura</u> , Joji Ishizaka, Shigeyuki Oda	Characteristics of occurrence of red tide due to harmful dinoflagellate <i>Karenia mikimotoi</i> in western Seto Inland Sea and satellite-based red tide monitoring system.
H24.11.16	第46回 腸炎ビブリオンシンポジウム	福田 穰	ヒラメに寄生するKudoa属粘液胞子虫
H24.11.17	2012年度水産海洋学会研究発表大会	西山雅人・中里礼大・堀切保志・徳光俊二・斉藤真美	マアジ卵の水温別発生所要時間および大分県沿岸域における産卵量の推定
H25.1.25	平成25年度日本水産学会春季大会	渡慶次力・福田博文・行平真也・市川忠史・清水学	延岡漁場における2012年下半年期のシラス漁獲量の変動特性
H25.1.31	第5回東京海洋大学「水産海洋プラットフォーム」フォーラム	ポスター展示 西山雅人	①豊予海峡周辺海域におけるマアジの成熟と卵の分布特性 ②豊予海峡周辺海域に生息するマアジの産卵時間帯の推定 ③マアジ卵の水温別発生所要時間および大分県沿岸域における産卵量の推定
H25.1.31	第5回東京海洋大学「水産海洋プラットフォーム」フォーラム	ポスター展示 宮村和良	①赤潮予報と赤潮監視で漁業被害を防ぐ
H25.3.9 ～10	平成25年度日本魚病学会春季大会	松山知正・坂井貴光・高野倫一・中村洋路・中易千早・近藤秀裕・廣野郁生・福田穰	ブリ細菌性溶血性黄疸原因菌の補体古典経路による殺菌
H25.3.24 ～25	平成25年度日本プランクトン学会春期シンポジウム	宮村和良,石坂丞二	西部瀬戸内海におけるFlowCAMを用いた現場赤潮監視
H25.3.26 ～30	平成25年度日本水産学会春季大会	宮田直幸・森友彦・暁平真明・内海訓弘・田上英明・宮崎信之・新沢丘・水島康一郎・池上直也・庄司紀彦・佐藤克文	スズキ成魚の淡水域利用
H25.3.26 ～30	平成25年度日本水産学会春季大会	渡慶次力・福田博文・行平真也・市川忠史・清水学	延岡漁場における2012年下半年期のシラス漁獲量の変動特性
H25.3.26 ～30	平成25年度日本水産学会春季大会	長谷川雅俊・渡慶次力・福田博文・行平真也・柳川晋一・和田隆史・市川忠史・清水学	南日本沿岸におけるカタクチシラスの出現

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成24年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	H24.12.13～14	安心院亀の井ホテル	14	58
農林水産研究指導センター研究紹介 ～食品(製品)の価値を高める技術開発～	H25.2.15	コンパルホール	1	160

3. 研究成果の普及、技術指導
(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H24.4.6	スッポン養殖とドジョウ養殖	宇佐市安心院町	15	天峰中学校卒業生
H24.4.10	小底制限解除漁業者説明会	佐伯市	40	大分県漁業協同組合
H24.4.26	瀬戸内海大分県海域におけるマガコレイ体色異常魚の混入状況	日出町	25	(公益社団法人)大分県漁業公社
H24.5.8	大分県漁業士会底曳き網漁業部会研修会	日出町	33	大分県漁業士会底曳き網漁業部会
H24.5.10	ヒジキ養殖視察	宇佐市	6	糸島漁協舟越支所
H24.5.11	海域特性を考慮したキジハタとオニオコゼの放流手法の高度化に関する共同研究計画検討会	姫島村	15	(独)水産総合研究センター 瀬戸内海区研究所、水産振興課、 大分県漁協姫島支店
H24.5.18	ワカメ養殖研修会	豊後高田市	11	東部振興局
H24.5.22	ヒジキ養殖視察	豊後高田市	15	佐世保市 佐世保市漁協俵ヶ浦支店
H24.5.30	魚病および赤潮担当者会議	佐伯市	21	関係市、漁協支店等
H24.6.4	豊後水道南部地区漁協支店・市と水産研究部等による連絡会議	佐伯市	21	南部振興局
H24.6.5	豊後水道北部地区漁協支店・市と水産研究部等による連絡会議	臼杵市	17	中部振興局
H24.6.7	ヒジキ勉強会	大分県漁協別府支店 亀川営業店	8	大分県漁協青年部別府支部
H24.6.8	平成24年度赤潮講習会	佐伯市	15	大分県漁協佐伯支店青年部
H24.6.11	スッポン養殖とドジョウ養殖	宇佐市安心院町	7	玖珠郡漁業協同組合
H24.6.22	豊後水道北部海域赤潮研究会	臼杵市	20	中部振興局
H24.6.22	大分県水産養殖協議会講習会	佐伯市	76	水産養殖協議会
H24.7.6	魚食普及活動	佐伯市	129	佐伯市立蒲江翔南中学校
H24.7.9	大分県漁業調整委員会での漁況と海況の説明会	大分市	20	漁業管理課
H24.7.24	スッポンの生態と安心院のスッポンについて	宇佐市安心院町	10	安心院高等学校
H24.7.24	ヒジキ勉強会	大分県漁協日出支店	5	大分県漁協日出支店
H24.7.31	スッポン養殖起業検討者説明会	宇佐市安心院町	3	佐賀有明水産振興センター
H24.8.7	ドジョウ養殖起業検討者説明会	宇佐市安心院町	4	西部振興局
H24.8.13	ドジョウ養殖起業検討者説明会	宇佐市安心院町	1	水産振興課
H24.8.23	屋内無泥養殖ドジョウに給餌する配合飼料について	宇佐市安心院町	10	大分どうじょう屋内養殖協議会
H24.8.31	タチウオ資源管理学習会	臼杵市	15	大分県漁協臼杵支店
H24.9.15	別府湾漁業青年協議会学習会	別府市	24	別府湾漁業青年協議会
H24.9.20	杵築支店ヒジキ養殖勉強会	杵築市	15	県漁協杵築支店
H24.10.25	ドジョウ養殖起業検討者説明会	宇佐市安心院町	1	あじむ風と大地の農園
H24.11.5	大分県栄養士会食育活動	由布市	42	阿南幼稚園 大分県栄養士会
H24.11.29	臼津まき網青年部「ネクスト」勉強会	臼杵市	30	臼津まき網青年部「ネクスト」
H24.11.30	スッポン養殖の説明	宇佐市安心院町	3	社会福祉法人 旭川荘
H24.12.5	内水面魚病講習会	別府市	23	
H24.12.8	タチウオ成熟度調査結果報告会	国東市	12	東部振興局
H24.12.11	食に関する指導	佐伯市	18	佐伯市立楠本小学校
H25.1.18	愛媛県赤潮勉強会	愛媛県八幡浜市	60	宇和海水産構想推進協議会
H25.1.19	溪流魚を保全するためには	日田市	30	津江漁業協同組合
H25.1.21	海域特性を考慮したキジハタとオニオコゼの放流手法の高度化に関する共同研究報告検討会	姫島村	27	(独)水産総合研究センター 瀬戸内海区研究所、水産振興課、 大分県漁協姫島支店
H25.1.26	タチウオ漁業者検討会(底びき網)	杵築市	10	東部振興局
H25.2.7	大分かぼすフォーラム2013	大分市	100	大分かぼす振興協議会
H25.2.8	東国東漁業青年協議会学習会	豊泉荘(別府市)	35	東国東漁業青年協議会
H25.2.9	大分県栄養士会食育活動	大分市	25	大分県栄養士会
H25.2.9	豊前海漁業青年協議会学習会	豊後高田市	37	豊前海漁業青年協議会
H25.2.15	スッポン養殖とドジョウ養殖	宇佐市安心院町	3	全国内水面漁業協同組合連合会
H25.2.21	屋内無泥ドジョウ養殖の視察	宇佐市安心院町	2	石川県水産総合センター
H25.3.9	タチウオ漁業者検討会	大分市	27	大分県漁業協同組合
H25.3.15	小型底曳における試験操業結果漁業者報告会	佐伯市	40	大分県漁業協同組合
H25.3.16	ヒジキ養殖視察	国東市	12	県漁協上浦支店
H25.3.23	魚類養殖講習会	佐伯市	7	水産養殖協議会
H25.3.25	タチウオ資源管理学習会	大分市	14	大分県漁協佐賀関支店
H25.3.27	タチウオ資源管理学習会	臼杵市	14	大分県漁協臼杵支店

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

対象者	水産研究部 (佐伯市上浦)		浅海内水面グループ				総計	
			浅海チーム (豊後高田市)		内水面チーム (宇佐市安心院町)			
	件数	受入人数	件数	受入人数	件数	受入人数	件数	受入人数
生産者	1	7			22	90	23	97
団体等職員					14	45	14	45
普及指導員								
学生	3	165			3	18	6	183
海外研修者	1	18					1	18
その他	5	99	1	2	13	38	19	139
計	10	289	1	2	52	191	63	482

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
新しい養殖対象魚ハギ類の生産現場への人工種苗の普及	養殖生産魚の多角化を図るため、新しい養殖対象種であるハギ類の養殖現場へ人工種苗の普及・浸透・定着を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・カワハギの種苗生産技術は早期採卵技術を含めほぼ確立された。 ・漁業公社への技術移転もほぼ予定通り遂行できた。 ・今後は餌料開発を含めた養殖技術が確立されれば、新魚種として定着すると思われる。
「かぼすプリ」のブランド化と増産	「かぼすプリ」のブランド化と生産量のアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・かぼすの添加効果は果汁、果汁パウダー、搾汁残渣パウダーなど様々な条件下でも明瞭に認められた ・搾汁残渣パウダーの添加効果が確認されたことで、生産コストの低減が可能となった。 ・かぼすプリのPR(テレビ、新聞、美登利寿司等)が広く浸透し、全国的に知名度がUPした。

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
農林水産研究指導センター（本部）	879-7111	豊後大野市三重町赤峰2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤峰2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦3456	0972-82-2837	0972-82-5322
ナシ・ブドウチーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2369	0974-22-4236	0974-22-6850
水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
浅海・内水面グループ	879-0617	豊後高田市呉崎3386	0978-22-2405	0978-24-3061
内水面チーム	872-0504	宇佐市安心院町荘42	0978-44-0329	0978-34-4050

平成24年度
大分県農林水産研究指導センター業務年報

平成25年 月発行

編集 大分県農林水産研究指導センター
発行

〒879-7111
豊後大野市三重町赤嶺2328-8
TEL 0974-28-2074
FAX 0974-28-2052